

第四十一回帝國議會 院 精神病院法案委員會會議錄(速記)第二回

會 議

大正八年二月二十六日午後二時三十分開議

出席委員左ノ如シ

金杉英五郎君

中村 青典君

山根 正次君

片木政治郎君

行德 健男君

清水市太郎君

丸山嵯峨一郎君

伊東 重君

井島 義雄君

齋藤 紀一君

橫山勝太郎君

土屋清三郎君

高木益太郎君

同日二十四日委員八木逸郎君辭任ニ付其補闕トシテ同日土屋金次君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長

杉山四五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

精神病院法案

○委員長(醫學博士金杉英五郎君) ソレデハ精神病院法案ノ委員會ヲ開キマス

○政府委員(杉山四五郎君) 大臣ヨリ本議場ニ於テ提出ノ理由ヲ述ベテアリマスルガ、尙ホ私ヨリ一應此法案ノ制定ニ至リマシテ理由ヲ一通リ申上デテ見タイト思ヒマス、我國ニ於キマス精神病病者ノ數ハ、明治四十四年ニハ二萬五千七百七十三人デアリマシタノガ、年々増加致シマシテ、大正五年末ニ於キマシテハ、四萬四千二百二十五人ト云フ數ニ達シテ居リマシテ、殆ド此五年間ニ倍數ニナツテ居ルヤウナ實況デアリマス、デ昨年保健衛生調查會ニ於キマシテ、全國ニ對シ一定ノ標準ヲ示シテ、調査ヲ行ヒマシタル結果ニ依リマスルト、精神病病者ノ數ガ實ニ六萬四千九百三十四人ト云フ多數ニナツテ居リマス、デ日本トハ違ヒマスガ、先進歐米諸國ニ於テ調査ノ結果ニ依リ計數デ申シマス、精神病病者ノ數ハ國民ノ人口三百人乃至五百人ニ對シ一人ト云フ割合ニナツテ居ルデアリマス、其計數ヲ以テ推算致シマスルト、我國ノ精神病病者ノ數ハ實數ガ十二萬人乃至二十萬人ト云フヤウナ推算上ノ結果ヲ見ルデアリマス、要スルニ斯ク多數ノ吾々民族ノ間ニ哀レナル所ノ同胞ノアルト云フコトハ、甚ダ遺憾ナ次第ゴザイマス、ノミナラズ、社會モ段々複雑ヲ加ヘルニ從ヒマシテ、此精神病病者ノ増加ノ傾向ガアルト云フコトハ、固ヨリ多辯ヲ俟タヌ次第デアリマス、デ先進歐米各國ニ於キマシテハ、此保護ノ事、此取締ニ關スル事モ非常ニ整頓致シテ居リマシテ、就中英吉利、佛蘭西、獨逸等ニ於キマシテハ、精神病病者ノ三分ノ一

ハ官公立精神病院ニ收容サレテ居リマス、殊ニ北米合衆國ニ於キマシテハ、悉ク精神病院ニ收容スルト云フヤウナ、誠ニ至レリ盡セル所ノ實況デアリマス、續テ我國ノ狀況ヲ見マスルト、國家及ビ公共團體共ニ保護治療ニ關スル所ノ施設ト云フモノガ、何等無イト云フヤウナ狀況デアツテ、誠ニ顧ミテ安カラザル次第デアリマス、デ現行ノ唯一ノ精神病ニ關シマスル法制アル精神病病者監護法ト云フモノハ、單ニ法案ノ上カラシテ監護患者ノ取締ト云フ上ニ重キヲ置キマシテ、一方ニ於テ不法ノ監禁ヲ解除スル上ニ於テ、扶養義務者或ハ市町村長ニ保護法ノ規定ニ依ル權能ヲ與ヘテアリマス、ケレドモ之ヲ監護スベキ所ノ場所設備等ニ付テハ、何等ノ規定ヲ致シテ居リマセヌ、即チ現行法ノ精神病病者監護法ト云フモノガ、名ハ監護デアリマスルガ、實ハ監護法デアツテ、救護ノ法デハナイ、而シテ現行精神病病者監護法ノ制定以來、二十年ト云フ長年月ヲ經過シテ居ルニモ拘ラズ、東京巢鴨病院ヲ除ク外ハ、多クハ私立病院デアリマシテ、隨テ六萬有餘ノ精神病病者中ニ、精神病院其他ノ設備アル處ニ收容サレテ居リマス患者ノ數ハ、僅々四千名餘ノ少數ニ過ギマセヌ、監置ヲ要シマスル患者ト致シマシテモ、約四千五百名ト云フモノハ、最モ不完全ナ自宅監置ト云フコトニナツテ居リマシテ、而モ其大多數ハ中産階級以下ニ屬シテ居リマスルノデ、殆ド其慘狀ハ見ルニ忍ビナイヤウナ實況デアリマス、私共ノ同僚ノ中デ各地方ノ實況ヲ觀察致シマシタ其話ヲ聽キマス、實ニ之ヲ口ニスルニモ忍ビナイ眞實家畜ヲ取扱フヨリモモト酷イ扱ヲサレテ居ル、實ニ眼モ當テラレナイヤウナ狀態デアリマス、吾々此數千年來一ツノ民族デアツテ、御互ニ相倚リ相助ケテ今日ニ至リマシタ美風良俗ノ大和民族ニ於キマシテ、斯ノ如キ事ノアルニ至デハ、實ニ國家ノ一大不祥事ト言ハナケレバナラヌ事ト思ヒマス、其二ノ寫眞ヲ取デ參リマシタモノヲ、是ヨリ委員長各委員諸君ノ御手許ニ提供致シテ、御參考ノ一助ニ供シタイト考ヘマス、又監置ヲ要セザル所ノ患者ニ付キマシテ、其多クハ適當ナル所ノ保護治療ヲ受ケルコトガ出來マセヌカラシテ、時ニハ恐レベキ所ノ犯罪ヲ致シマシテ、是ガ實ニ年々百五十名ヲ下ラヌト云フヤウナコトデ、時ニハ殺人犯ノヤウナ危險ナル犯罪ヲ出シマス、併ナガラ申上ゲルマデモナク、精神病病者ハ刑法不論罪デアリマシテ、處罪セラレマセヌカラ、又危險ナル罪ヲ犯スコトヲ繰返ヌ故ニ、公安上棄置ケイト言フ實況デアリマス、斯ノ如キハ詰リ精神病病者ノ

保護ガ届カナイデ、公安ノ上ニ於テモ少カラザル不備ナル點ノアル結果デアリマス、畢竟是等ノ者ヲ收容シマスル所ノ場所ヲ、私人ノ經營ニ任シテ置クト云フコトデハ相成ラヌカラ、何トカ國家ト地方團體ト協力致シマシテ、是ガ施設ヲ爲スコトノ洵ニ必要デアリマスルコトハ、多言ヲ俟タナイ次第デアリマス、此見地ヨリ致シマシテ、保護治療ノ上カラ療養ノ途ノ無イ精神病病者、其他監護ノ必要ノアリマスル所ノ精神病病者ヲ收容致シマスル爲メニ、道府縣ニ對シマシテ精神病院設置ノ事ヲ主務大臣ガ命令シ、場合ニ依ッテ道府縣保護ノ下ニ、相當ノ精神病院ヲ設置サセ、而シテ國家ハ之ニ補助ヲ與ヘマシテ、國ト公共團體トガ相俟テ、此施設ヲ致シタイト云フノガ第一ノ趣旨デアリマス、尙ホ危險性ノ甚ダシイ所ノ犯罪性精神病病者又ハ府縣立ノ精神病院ニ於キマシテ、監護困難ノ精神病病者ヲ收容スル爲メニ、一方國立精神病院ナルモノヲ設置致シマシテ、之ヲ監護スル必要ヲ認メマス、併ナガラ目今國家多事ニシテ財政上已ムヲ得ヌト云フ實況デアリマスカラ、直チニ國立精神病院ハ出來ナイカモ知レマセヌガ、當局トシテハ出來ルダケ、速ニ國立ノ精神病院ノ設置ヲ見タイト云フ考ヲ持テ居リマス、尙ホ道府縣ノ精神病院ニ付キマシテハ、年々二ツ若クハ三ツ位宛、其緩急ヲ制シテ指定ヲ致シマシテ、此道府縣立ノ精神病院ヲ造ラシムルト云フ考ヲ持テ居リマス、既存ノ公私立精神病院ヲ利用スル考ヲ以テ、二ツ三ツ位宛造ル考デアリマス、一時ニ劃一ニハ出來マセヌカラシテ、其間ノ緩急ヲ見計ヒマシテ、公私立ノ精神病院ト云フモノヲ利用シテ、之ヲ保護獎勵スルノ必要ヲ認メルデアリマス、仍テ茲ニ精神病院ノ設置維持管理等ニ關シテ、其等ノ關係ヲ統一スル所ノ必要ヨリ、本法案ヲ提出シマシタ所以デアリマス、顧ミマスレバ明治四十四年ニ山根正次君ヨリ、國立公立ノ精神病院ヲ設置シタイト云フ建議ガ議場ニ出マシテ、滿場一致ヲ以テ建議案ヲ通過サレタ當時ヨリ、政府ニハ議會ノ精神病院ヲ造ルコトノ必要ナリト云フ國民ヲ代表セラレタ御趣意ハ、夙ニ諒トセラレタ次第デアリマス、今ヤ益々其必要ヲ認メマシテ、大正四年以來設置致シマスル保健衛生調查會ハ、其中ノ一部トシテ一ツ精神病部ト云フモノヲ設ケテ居リマス、其精神病部ヲ擔當スル調査委員ノ方々ハ、大ニ此方面ニ力ヲ盡サレ、此法案ノ骨子トモスベキ所ノ事項ヲ定メラレテ、而シテ內務大臣ニ之ヲ建議サレマシタ、即チ精神病院法ハ此骨子ノ下ニ速成シタイト云フ建議ガアリ

マシタ、ソレハ昨年デアリマシテ、爾來當局者ハ日夜此事ニ付キマシテ調査ヲ進メ、茲ニ此法案ヲ提出スルコトニナツタノデアリマス、而シテ此機會ニ於テ特ニ申上ゲマスノハ、彼ノ我國ニ於ケル精神病學ノ「オートリチー」タル片山博士、吳博士、又三宅鎮一博士、此三博士ニ依リマシテ多大ノ指教ヲ受ケ、有ユル努力ヲ得マシタコトヲ此機會ニ於テ特ニ一言スルノ光榮ヲ有スル者デアリマス、庶幾クハ慎重御審議ヲ下サイマシテ、速ニ適當ノ御議決アラントウ衷心ヨリ希望致シマス

○委員長 醫學博士金杉英五郎君 横山君カラ質問ノ通告ガアリマスカラ——横山君

○横山勝太郎君 此提案ノ趣意ハ唯今詳細ニ御説明ガアリ、又先日大臣ノ御答辯ガアッテ、大體其趣意ヲ諒トスルコトガ出来マシタ、固ヨリ賛成デアリマス、少シク質シテ置キタイト思ヒマス中ノ第一點ハ、此ノ從來ノ精神病者監護法ハ申スニ及バズ、今回ノ精神病院法其モノ、内容ヲ調査致シマスニ、是ハ主トシテ精神病者ガ出來タ曉ニデス、是ハ危險ナルコト云フコトヲ監置ノ方法ヲ執リ、其監置ノ方法ハ精神病者監護法ニ依レバ——民設ノ監置法ニ依レバ、官憲ノ方カラ進シテ事ヲ監置スル、斯ウ云フ趣意ニナッテ居リマス、デソレハ固ヨリ必要デアルコトハ論ノ無イコトデアリマス、此事ガ起テカラ之ヲ監置スルコト云フコトハ、抑、少シ後レテ居ルコトデアル、恰モ犯罪者ガ起ツタラ犯罪者ヲ檢舉シテ監獄ニ送ルト云フコトハ、司法處分トシテハ已ムヲ得ヌコトデアリマス、國家全體ノ目的トシテソレハ既ニ後レテ居ル、宜シク事前ニ安寧秩序ヲ保チ、其他ノ方法ヲ以テ犯罪ヲ防止スルコト云フコトガ、國家ノ重大ナル責任デアルト私ハ考ヘル、同時ニ精神病者ニ付テモ起テカラ之ヲ監置スルヨリモ、起ラナイ以前ニ精神病者ナル者ハ、如何ナル原因ニ依ッテ發作スルモノデアルコト云フコトヲ探究シテ、精神病者ノ多ク起ラザルコトヲ國家ハ努メラレネバナラヌト考ヘマス、此法案デハ其目的ハ毫モ之ヲ見ルコトハ出來ナイ、而シテ精神病ノ發作ノ原因ニ付テ考ヘルニ、私固ヨリ門外漢ノコトデアリマスカラシテ、精シイ事ハ存ジマセヌガ、從來學者ノ教フル所ニ依レバ、第一ニ發作ノ原因ト見ルベキモノハ、遺傳、ソレカラ微毒、酒精、是等ガ主ナルモノニナッテ居テ、而シテ又先刻政府委員ヨリ御話ノ如ク、漸次此生存競爭ノ激シタルニ從ッテ、生活上ノ劣敗者、生活問題ニ煩悶シテ結果、精神ニ異狀ヲ來スト云フコトハ、是ハ屢々實見シテ居ル事柄デアリマシテ、此方ノ患者ハ將來餘程大ナル速度ヲ以テ増加スルコト、思ヒマス、ソレカラ又一面ニ當今ノ學者ノ説明ニ依ルト云フト、日本ニハ監獄ノ詰リ既決未決ノ囚人ヨリシテ精神病者ヲ發見スルコトガ甚ダ少イ、

ソレハ監獄ニ於テ詰リ專門ノ醫者ガ不十分デアルガ爲メニ、其病源ヲ發見スルコトガ出來ナイノデアル、又一面ニ於テハ罪ヲ犯シテ官憲ヨリ糾弾セラレル場合ニ方テハ、偽ヲ構ヘテ其責任ヲ免レントスル者ガアルカランテ、其社會の原因ヨリシテ、醫師ガ往々之ヲ誤認スルコトガアルト云フヤ、ナコトデ、兎角日本ノ監獄ニ於テハ非常ニ精神病者ガ少イ、レドモ、西洋各國ノ監獄ノ有様ヲ承リマスルコト云フト、統計モ此處ニ持ッテ居リマスガ餘程莫大ナル數デ精神病者ガ檢舉サレテ居ル、デサウ云フ原因ニ就テ考ヘテ見マスルコト云フト是ハ遺傳ニ因ル分ハ、今日ノ醫學ノ程度ヲ以テハ、如何トモ仕様ガナイカモ知レマセヌガ、例ヘバ其他ノ微毒トカ酒精ニ因ル精神病ノ原因ト云フモノハ、當局官憲ノ力ヲ以テ之ヲ全部豫防スルコトハ固ヨリ出來マセヌケレドモ、或ル程度マデハ官憲ノ力ヲ以テ爲シ得ル、即チ酒精ニ對スル政策ヲドウスルカ、先日來私ヨリ申上ゲタ、公娼私娼ニ關スル取締ヲドウスルカト云フヤウナ事柄ハ、直チニ此精神病ノ數ニ影響ヲ來スコト、考ヘマス、ソレカラ此所謂監獄病ノ如キハ、日本デハ餘程法制ガ進歩致シマシテ、密室監禁ノ制度ヲ今日ハ採ッテ居リマセヌガ、依然トシテ今日接見禁止ノ規定ヲ存シテ居ル、此接見禁止ノ規定ハ、豫審判事ノ認定ニ依ッテ、犯罪事件ノ捜査上必要アリトスル場合ニハ、如何ナル場合ニ於テモ、何人ニ對シテモ、而シテ無制限ニ之ヲ爲スコトガ出來ルコトニナッテ居ル、是ガ爲メニ社會上相當ナル地位ヲ持チ、相當ナル閱歷ヲ持ッテ居ル者デアリマシテモ、事件ノ進行上接見禁止ヲ必要トスルコト云フ場合ニハ、一片ノ決定ヲ以テ幾十日間デモ接見禁止ヲスルコトガ出來ル、是ガ爲メニ父子兄弟全ク交通ヲ杜絶スル、幾万圓幾十萬圓ノ取引ヲ致シテ居ル者モ、一朝ニシテ豫審判事ノ決定ニ依ッテ、其取引ヲ杜絶セラレルト云フコトノ爲メニ精神上非常ナル迫害ヲ蒙リ、是ガ爲メニ、精神病者ニナル者モ決シテ無イノデアリマセヌ、此密室監禁ガ野蠻的ノ法規デアルトハ、今日之ヲ申ス必要ハアリマセヌガ、接見禁止ノ法律ノ如キモ、固ヨリ是ハ密室監禁ト同様、矢張時代後レノ所謂前世紀ノ遺物デアル、ソレヲ今日依然トシテ我が帝國ノ監獄署ニ於テ、日本ノ司法官ハ何等ノ考量ヲモ費サズシテ、之ヲ決定シテ居ル、吾々ノ知ル範圍ニ於テモ、相當資産アリ人格アル者ガ、五十日七十日ト云フ期間ノ間接見禁止ヲセラレト云フ場合ハ澤山アリマス、是等モ精神病ノ原因トナルト云フ事柄ハ、其道ノ學者ガ堂々ト著書ノ中ニモ書イテ居ルヤウナ次第デアリマス、デ是ハ事司法省ノ關係デアリマスルカラシテ、御即答ハ得ラヌカモ知レマセヌガ、要スルニ今申上ゲタヤウナ原因ニ付テドウ云フ考ヲ持ッテ居ラレルカト云フコト、私ノ専門外ノ智識ヲ以テシテモ、麻痺の癩

呆狂ト稱スルモノハ、微毒ガ原因デアッテ、受感後約十年制度ニ於テ發スル、ソレカラ此公娼私娼ノ問題ニ關聯シテ申上ゲテ置キタイノハ、女子殊ニ下等社會ノ者デ醜業婦ニ至ルトキハ、比較的ニ酒精原因ノ病者ガ簇出スル、醜業婦ハ得テ酒精ニ接近スル時機ガ多イノデアリマス、其他ノ原因トシテ手淫、荒淫ト云フモノヲ精神病ノ原因ニ舉ゲテアル、荒淫ト云フモノハ所謂淫ニ荒ムト云フノデアリマス、淫、淫事ヲ繰返シテ行フ、是ハ固ヨリ公娼私娼ニ最モ多イノデアリマス、是等ノ原因ヲ實際ニ考ヘ來ルト云フト、抑、此精神病院法案トカ精神病監護法ト云フモノハ、所謂泥棒ヲ捕マヘテカラ繩ヲ縛フト云フ法律ニ過ギヌノデアリマス、事前ニ犯罪ノ防止ヲ致シ、事前ニ精神病ノ原因ニ付テ相當ノ方策ヲ講ズルト云フ上カラ見ルト、實ニ迂遠極マル話デアアル、前刻政府委員ヨリモ御話ノ如ク、又私ヨリモ申上ゲマシタ如ク、生活問題ノ壓迫ヨリシテ來ル所ノ精神病者ト云フ者ハ非常ナル速度ヲ以テ増加シテ行クノデアリマス、是ニ付テハ救貧防貧ノ制度ト云フモノハ頗ル必要デアルガ、内務省ハ何モ此點ニ付テハヤッテ御在ニナラヌヤウデアル、徒ラニ多クノ犯罪人ヲ造ッテ監獄署ヲ増シタリ、徒ラニ多クノ精神病者ヲ造ッテ病院ヲ増シタリシタ所デ、此政策ハ達セラレヌト思フ、宜シク其原因ニ遡ッテ、精神病發作ノ原因ヲ排除スルコト云フ方法ヲ講ジナケレバナラヌト思ヒマス、事廣汎ニ關スル問題デアリマス、ケレドモ、其大體ダケデモ私ハ伺ッテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○政府委員(杉山四郎君) 唯今横山君ヨリ、出來タ精神病者ヲ容ル、爲メノ精神病院法案モ宜イガ、尙ホソレヨリ精神病者ヲ出サナイヤウニ國策ヲ立テ、之ヲ實行スルコトノ勝レルニ如カザルヲ認ムルガ、ソレニ付テハ政府、如何ナル考ヲ持チ、又如何ナル調査攻究ヲ爲シツ、アルカト云フ御趣旨ノ下ニ、幾多ノ項目ヲ掲ゲテ御質問ガゴザイマシタガ、他省ニ關係ヲ持ッテ居リマスモノハ、是ハ御答ハ出來マセヌガ、自己ノ管掌スル範圍ニ於ケル點ニ付キマシテ、聊カ御答ヲ申上ゲマス、横山君ハ此精神病者ノ原因トシテ、遺傳、是ハ如何ニモ當局モ御同感デアリマス、而シテソレニ付テハ、亞米利加ノ如キモ最モ勇斷ヲ以テ、遺傳的ノ精神病者ヲ發生セシメナイヤウナ方法ヲ執ッテ居リマス、現ニ輪精管切斷術、精液ヲ送ル管ヲ切斷シテサウシテ交接ヲ不能ナラシメ、子供ノ出來ナイヤウニシテ、精神病者ノ殖エナイヤウニスル方法ヲ州法ヲ以テ實行シテ居リマス、斯カル州ハ現今十餘州ニ達シテ居リマス、是等ハ進シタル觀念グラウト存ジマス、我國ノ現狀ニ於テ此處マデ進ムベキヤ否ヤニ付テハ、目下保健衛生調査會ニ於テ慎重ノ考慮ヲ以テ攻究中デアリマス、第二ノ原因ト

シテ御連ベニナク酒精中毒、是モ御同感デアリマス、此點ニ付テハ年々根本君ヨリ、未成年者飲酒禁止法案ヲ提議セラレテ、昨年モ衆議院ヲ通過シ、貴族院ニ於テハ營業者未成年者ノ酒ヲ飲ム其取締ニハ不十分デアリト云フヤウナコトヲ議了ニ至ラナカッタ、併ナガラ年々殆下衆議院ヲ通過セルニモ拘ラズ、貴族院ニ於テ是ガ決定ニ至ラナカッタ拘ラズ、流石世界ノ大勢ニ動カサレマシテ、我國ニ於テモ未成年者ニ飲酒ヲ禁止スル事ガ、大勢ニ順應スル所以デアリト云フ所カラ、貴族院ニ於テモ未成年者飲酒禁止法案ニ賛成セラル、ヤウナ形勢ニナツコトハ、私モ當時委員トシテ感受シタルデアリマス、本年ハ既ニ御承知ノ如ク衆議院ヨリ完全ナル議案ヲ提起セラレマシテ、私モ其委員會ノ席末ニ列スル事ヲ得マシタガ、要スルニ段々此酒精ト云フ側カラノミ、固ヨリ精神病者ヲ少クナラシムルト云フ趣旨デアリマセヌガ、兎ニ角總テ有識ナル諸君ガ此方面ニ御著眼ニナツテ、政府ニ於テモ——保健衛生調査會ニ於テモ、未成年者飲酒禁止ヲ必要トシテ、內務大臣ニ建議致シ、政府モ十分此方面ニ對シテ考究ヲ進メツ、アルデアリマス、固ヨリ現狀ヲ以テ満足ハ致シマセヌ、其邊ハ宜シク御諒承ヲ願ヒマス、次ハ微毒ノ原因タル花柳病ハ保健衛生調査會ニ於テ、或ル部門ヲ構成シテ居リマス、其方面ニ於テハ或ハ潜伏期又ハ痲病等ノ減少ニ付テ調査研究致シ、如何ニセバ此花柳病ナルモノヲ減少シ得ベキカラ段々調ベテ居リマスガ、未ダ横山君ノ言ハレル如キ、具體的ノ方策ノ現レル事ノ出來ナイノハ、當局ノ遺憾トスル所デアリマス、併ナガラ此方面ニ於テハ、民族ノ健康ヲ障害スルモノ、精神ノ方面ニ於テモ肉體ノ方面ニ於テモ、所謂活動力ト云フカ能率ト申シマスガ、ソレヲ減少スル花柳病ヲ、如何ニシテ廢滅セシムルカト云フ事ニ、折角今調査ノ歩ヲ進メツ、アリマス、次に生活上ノ不安定、生活上ノ困難、是ハ誠ニ横山君ノ良イ所ニ御氣著ニナリマシタコトデアリマスガ、內務省ニハ何等社會政策ニ就テ施設見ルベキモノガナイト云フ御批評ハ、甚ダ恐縮デアリマスガ救済事業調査會ナルモノヲ起シマシテ、大學方面ナドノ學者、又實際上ノ方面ニ當テ居リマス所謂實際家、サウ云フヤウナ人ヲ集メテ、兎ニ角救済ノ事業ヲ調査シツ、アリマス、併シ私共ノ考ヘマスニハ、實ハ先頃ノ豫算總會若クハ本議場ニ於テ、戰爭ガ始マシテ以來殊ニ生活難ノ聲ガ高く、物價騰貴ノ爲メニ所謂勞働階級、而シテ俗ニ言フ洋服貧民、少年俸給ニ衣食スル者、或ハ銀行會社等ニ於テモ中流以下ノ報酬ヲ以テ衣食スル者、生活ノ不安定ト云フコトハ、誠ニ同感同情ニ堪ヘヌ次第デアリマス、本議場ニ於テモ色々論議サレマシタガ、特ニ此保健問題ニ觸レタ事ヲ喜ブ

ノデアリマス、武當時敏君ガ豫算總會ニ於テ、勞働保險ニ言及サレマシタガ洵ニ國家ヲ憂フル上ニ於テ、確ニ眞ノ意思デアリコトヲ感謝スルノデアリマス、併ナガラ若シ衛生ノ方面ニ於テ、常ニ國民ノ疾病ヲ如何ニシテ解決スベキカニ付テハ、單ニ勞働保險ト云フヤウナモノダケデハ不十分デアルト確信スルモノデアアル、獨逸ノ如キハ、申上グルマデモナク、彼「ビスマーク」ガ「ワグナー」トカ「シユモラー」トカ云フヤウナ「オーソリチー」ヲ首動トシテ、強制疾病保險ヲ制定シテ居ル、名ハ強制保險デアアルガ、今デハ一般國民保險デ、獨リ勞働者ノミナラズ、精神ノ勞働ニ從事シツ、アル者ニモ、均シク保險ヲスルト云フ制度ガ布カレテアリマス、肉體勞働者ノミナラズ精神勞働者ニ對シテモ、疾病ニ罹レバ直チニ醫者ニモ診テ貰フコトカ出來ル、精神ヲ勞スル者モ多ク疾病ニ罹ル、其爲ニ幾多社會生活上ノ難義ヲ惹起ス故ニ、疾病ニ罹ラヌヤウニスル、罹ラタナラバ直チ病院ニ入レルトカ、其救濟ヲシテ居ル「ナシヨナル」インシュランスノ斯様ナ制度ヲ我國ニモ行フト云フコトガ、當面ノ急務デアリナカト衛生ノ當局トシテ確信致シマス、昨夏以來專ラ此方面ニ意ヲ致シテ居リマス幾多ノ先進國ノ國民保險ニ關スル制度等ハ大體調ベテアリマスガ、併ナガラ此事タルヤ中ニ輕々ニ行ヒ得ルモノデモアリマセヌ、固ヨリ此事ニ付キマシテハ相當ノ費用モ要シマスガ、併シ是ハバドウシテモヤラナケレバナラヌト思フ、ケレドモ此問題ハ少シ脱線ノ氣味ニナリマスガ、勢ヒ矢張昨年四十議會ヲ通過シタル衛生行政中樞機關ノ擴大ト云フコトニ、結論ハナルト考ヘル、何トナレバ勞働保險問題デスラ、農商務省ト內務省ト主管ノ事ガ問題ニナデ來ル、若シ疾病衛生ノ問題カラ、衛生行政中樞機關ヲ擴大セラレテ、サウシテ國民疾病保險ト云フ問題ノ解決ガ出來マシタナラバ、所謂橫山君ノ最も御心配ニナリマス國民生活ノ不安定ヲ導ク疾病ノ問題モ、解決ガ出來ルト考ヘル、私共ハ今ノ問題ノ中デ最も急務中ノ急ナルモノハ、國民疾病保險ノ制度ヲ布クニアルノデアリナカト思フデ居リマス、要スルニ此戰時時局ノ重大ナルニ依テ促サレテ、最も一番先ニ解決ヲ要スベキ問題ハ、先ヅ私共衛生方面ニ居ルカラ、我田引水論ニナルカモ知ラヌガ、國民疾病保險制度ヲ布クノガ一番デハアルマイカ、ソレヲ若シ直チニヤラントスルナラバ、昨年滿場一致ヲ以テ通過シタル衛生行政中樞機關ノ擴大ト云フコトニ依テ此問題ノ解決ニ當ラシムル、サウスレバ別ニ主管爭ト云フ問題モ起リマス、一定ノ機關ガ專心ニ此方面ノ研究調査ヲ進メテ、サウシテ案ヲ具シテ議會ノ協賛ヲ經ルト云フ風ニナルト考ヘルノデアリマスガ、併シ唯、饒舌ルダケデハ何ニモナリマセヌ、偶ハ横山君ヨリシテ此精神病ノ原因タル生活上ノ困難ヲ排除スルト云フコトノ御尋ガ出マシタカラ考

ヘテ居ル事ダケハ申上ダヌノハ不忠實デアリマスカラ申上ゲル次第デアリマス、此中樞機關ナルモノハ、政府ニ於テモ建議ヲ重シマシテ段々ト調査ノ歩ヲ進メツ、アリマスカラ、何等カノ形ニ於テ是ガ現レテ通過シマシテ、斯ウ云フヤウナ重要案件ノ解決ニ資スルヤウニシタイト、日夜考ヘテ居ル次第デアリマス、次に監獄ニ於テ、即チ醫者ガ精神病ナドノ知識ガ無イ爲メニ、監獄ニ入ッテ居ル者ノ中ニ精神病者ガ少イノデアリナカト云フヤウナ事カラ、段々御話ガゴザイマシタ、是モ誠ニ私モ同ジク考ヘテ居リマス、殊ニ豐島法務局長ノ御話ニ依ルト、何デモ德島縣ニ或犯罪事件ガアツテ、今横山君ノ御連ニナル通り、其犯罪者自ラ精神病者ダト云フ、精神病者ガ自分カラ精神病者ト云フコトソレ自身カ可笑シイケレドモ、自分ハ精神病者ダト申シマスノデ、裁判官ガ醫者ヲ呼ンデ色々調ベテ見ルガ、ドウモ誰一人精神病者デアルト云フコトヲ的確ニ信ジラレナイ、固ヨリ知識ガナイカラ、其診斷ガ出來マセヌ、依テ海ヲ渡ッテ岡山醫學專門學校ノ醫者ヲ呼ンデ見セタ所ガ、矢張徹底底ノ決定サレナイ、遂ニ福岡ノ醫科大學ヘ持ッテ行ッテ、始メテ是ガ精神病者デアルト云フコトガ愈々判定シマシタカラ、結局裁判ノ決定モ出來ル譯ニナツタサウデアリマス、是ハ三四年前ノ話ダサウデアリマスガ、實際精神病ヲ專門トスル所ノ醫者ガ、比較的二他ノ科ヨリモ少イコトハ事實デアリマス、併シ偶々此事ガ又一面ニ於テ、此法案ガ通過シテ、國立ナド府縣ニアル病院ガ出來テモ、實際ノ效用ヲ收メルノハ、先ダツモハ醫者デアアル、故ニ此病院ヲ造レバ直チ醫者ノ問題ガ起ッテ來ル、所デ醫者ニ付テハ、大正七年ノ調査デアリマスガ、東京帝國大學醫科大學ニ於テ、精神病ヲ專攻スル者ノ數ガ百三十一、京都帝國大學醫科大學デハ十三、東北帝國大學醫科大學デハ十一、九州帝國大學醫科大學デハ十五、千葉醫學專門學校デハ十一、京都府立醫學專門學校デハ五、府立大阪醫科大學デハ三十五、其他或ハ岡山、金澤、長崎、新潟、愛知等ノ醫學專門學校ニ於テモ、或ハ一乃至九位ナド專攻者數ヲ示シテ居リマス、是等ガ總計デ二百八十五ニナリマスガ、尙ホ病院法案ガ通過シマスレハ、二若クハ三ノ道府縣ヲ指定シテ、十年位ノ計畫ヲ以テ、此事業ヲ完成シマスノデ、現在既ニ二百八十五名ト云フ專攻者ガアリマスカラ、此病院法案ガ愈々現レマシタナラバ、需要供給ト云フト少シ可笑シイ話デアリマスガ、自己ノ將來ノ職業ガ得ラレト云フコトノ安定ガ見エマスノデ、益々希望者ガ殖エテ來ハシマイカト思ハレル、現在精神病理ヲ專攻シテ居ル所ノ醫者ノ數ガ少ナイト云フコトヲ補フコトガ、精神病院法ナルモノガ制定公布ノ曉ニハ出來ハシマイカ、現在ノ醫

者ニ此專門ヲヤテ居ル者ガ少イ、其爲メニ即チ語ヲ換ヘテ申シマスレバ法醫ト云フ者ノ上ニ於テノ缺點ヲ補フ問題ニナリハシマイカ、是ハ私共ヨリ司法省ガ頗ル此精神病院法案ヲ歡迎シテ居ル所以デハナイカ、是ハ其實況ニ鑑ミテモ、接見禁止、密室監禁、是等ノ事ガ偶々精神病者ガ死亡スル原因デアルト云フコトヲ、横山君ハ仰セラレマシタガ、是等ニ對スル政府ノ所見ハ司法省ノ政府委員ヨリ御答申上ゲルコトニシマセウ

○横山勝太郎君 今ノ御説明デ詳シイ事ハ分リマシタガ、唯、疑問ノ點ヲ確メテ置キマス亞米利加ノ各州ニ於ケル惡疾遺傳防止ニ關スル立法ハ是ガ十餘州モアルト云フ御話デアリマシタガ、若シ分テ居ルナラバ本日ニハ限リマセヌカラ、其各州並ニ其法文ノ大體デモ分テ居リマスレバ、御前シテ願ヒタイ、尙ホソレニ就テ如何ナル意見ヲ御持チニ付テ散居制度ヲ可トスルカ密居制度ヲ可トスルカト云フ御意見モ承リタイ、尙ホソレニ關聯シテ承リタイノハ、一兩日前ニ有リナル新聞紙ノ傳フル所ニ依リマス、内務省ニ於テハ此點ニ就テ多大ノ考慮ヲ費サレ、所謂二枚鑑札ナルモノ、制度ヲ認ムルトカ、一枚鑑札ヲ下附シタカニ云フコトヲ承リマシタガ、尙ホ其以前ニ警視廳ノ官吏ヨリシテ現在ノ遊廓制度彼ノ非現代ノ制度並ニ營業方法ハ宜シクナイ、即チ今日ノ内務省令ニ依ル公娼制度ニ付テハ、一大改革ヲ要スルト云フ意見ヲ述ベラレタコトモアリマシタ、是ハ本問題ニハ少シク縁ガ遠イヤウデアリマスガ、全然關係ノ無イコトデアリマセヌ、所謂精神病ノ原因除去ニ關スルコトデアリマスカラ、本問題ニ關係ガアルデアリマス、併シ此點ハ詳シク説明シテ戴カナイデモ、サウ云フコトガ有力無イカト云フコトヲ承レバ宜シイデアリマス、ソレカラ救貧防貧ノコトモ精神病ニ大ナル影響ガアルデアリマス、是等ノ事ハ調査中デアルト云フコトデアリマスガ、ドウモ其遺方ガ甚タ緩慢デアル、内務省デハ調査中々々ト云フコトデ目ヲ暮シテ居リマスガ、貧民ハ時々生活難ニ迫ラレテ居リマス、殊ニ甚ダシキハ神戸ニ於ケル貧民窟、東京市ノ隣接郡村ニ於ケル例ヘバ日暮里、三河島ナドハ最モ酷イ、殆ド吾々ノ同胞ガ彼處ニ住ッテ居ルトハ考ヘラレナイ位デアル、三疊若クハ四疊ノ所ニ家族住ンデ居ル、甚ダシキハ三夫婦、而モ親子兄弟ト云フ者ガ住ンデ居ル、ドウシテアノ三疊カ四疊ノ所ニ二十人前後ノ人ガ住マデ居ラレカ、ソレヌラ私ハ非常ノ疑問ヲ持ッテ居ル、而シテ此間ニ於テハ内務省ニ居ラレル人ノ書イタ本ノ中ニモアリマスガ、貧民窟ニ於ケル生活狀態ハ實ニ名狀スベカラザルモノデ、所謂寢タ者夫婦兄妹ナルガ故ニ、此性慾問題ヲ起サスト云フコトハナイ、

所謂其處ニ接著シテ肉體相摩スルコトニ依ッテ甚ダ憂フベキ人倫上ノ大犯罪ガナサレテ居ル、斯ウ云フ風デハ國家ガ如何ニ文教ヲ弘メ、教育制度ヲ完備シテモ、此救貧防貧ニ關スル制度ガ完全シナカタナラバ、其目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、ソレヲ調査會ヲ設ケテ、民間ノ有志トカ官吏ノ御方ガ緩慢ニヤッテ居タノデハ、駄目デアアル、獨立ノ機關ヲ設ケテ徹底ノ二調査ヲスルニアラズンバ、到底此目的ヲ達スルコトハ出來マイト思フ、放火、泥棒、入殺ト云フ東京ノ者ハ、是等ノ者ノ間カラ多ク出テ來ル、米騒動ニ於テ東京ノコトハ私ハ能ク存ジマセヌガ、多クノ所ニ於テ貧民窟ノ者ガ最も多イ、而シテ是等ノ者ガ惡イ事ヲスルノガ一番上手デアル、國家ガ色ミト教育ニ關スル制度ヲ設ケタラ、莫大ノ費用ヲ使ッテ官吏ガ努力シテモ、此方面ニ關スル施設ガ徹底ノ二行カナカタナラバ、吾人ノ衛生ヲ完全ニ保ツコトハ出來ナインデアリマス、此點ニ就テ甚ダ當局ノ施設ハ緩慢デアアル、尙ホ之ニ關シテ赤十字病院、或ハ恩賜財團濟生會施設院、是等ノモノハドウ云フ活動ヲシテ居ルカト云フコトヲ見テモ直ガ分ル、恩賜財團濟生會ノ如キハ、世間ノ貧民ニ就テ間ク所ニ依ルト、生キテ居ル中ニ厄介ニナッタ者ハ餘リ無イト云フ、病氣ノ者ガ交番ヘ行ケバ今日ハ日曜デアアルカラ明日ニシロト云フ、或ハ町村役場ニ行クト、今度ハ祭日デ休ミト云フ、然ルニ病氣ハ祭日モ日曜モナク、ドシ〜進行スルノデ、一兩日ヲ經過シテ漸ク濟生會ヘ行クトコトニナタ頃ニハ、モウ病人ハ死ンデ居ルト云フヤウナコトデ、生キテ居ル中ニ濟生會ノ御厄介ニナッタコトハナイト言ッテ居ル、デ此詳シイコトハ本問題ト多少距離ガアリマスカラ、多クハ申シマセヌガ、兎ニ角是等ノ施設ヲ完全ニシテ行カナカタナラバ、斯カル堂々タル精神病院法ナルモノヲ設ケタ所ガ、非常ナル速度ヲ以テ出來ル所ノ精神病者ヲ少カラシムルト云フ目的ヲ達スルコトハ出來マイト思フデアリマスカラ、此點ニ對シテハ特ニ御注意ヲ願ヒタイデアリマス、序ニ御答辯ヲ願ヒタイ第二ノ事項ヲ申上ゲマス、政府委員ノ先刻ノ御説ノ通りト致シマス、私ハ寧ロ此際明治三十三年ノ精神病者監護法ナルモノハ廢シタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、即チ國家ガ統一ノ法律ヲ設ケテ、一貫シタル監督ヲナス上ニ於テハ、寧ロ斯ウ云フ法律ハ無イ方ガ宜イト思フ、先刻政府委員ヨリモ御話ガアリマシタ如ク、精神病院法ニ依ッテ精神病院ニ入院シテ居ルヤウナ患者ハ、實ハ犯罪人以上ニ危險デアアル、放火殺人ノ如キコトニ向ッテモ、或ル意味ニ於テハ刑法上責任アル犯罪者ヨリモ、無責任ナル精神病者ノ方ガ、甚シク危險ヲ包藏シテ居ルト云フコト

ハ申スマデモナイ、是ハ家庭ニ於ケル犯人デアルト同時ニ、國家ノ一大疾患デアアル、而シテソレガ先刻政府委員ノ御話ニヨレバ、十二三万アル、其中病院ニ入ッテ居ル者ガ四万人、自宅ニ監置シテアル者ガ四万五六千人アルト云フコトデアリマシタガ、ソレハ親戚故舊ノ情愼トシテハ、自宅ニ監禁ヲスルトガ、或ハ知ラレテ居ル病院ニ入レテ置ク方ガ宜イト思フカモ知レナイイクレドモ、國家社會ノ目カラ見ルト、左様ナ者ハ國家ガ之ヲ處理シテ、監禁署デ之ヲ懲處ニ送ルト同様ノ意味ニ於テ、國家自ラ此危險ナル病者ヲ處理シ、監督ヲシテ行ク方ガ、寧ロ私ハ精神病院法案ノ精神ニ適シハセヌカト思フ、斯ウ云フ法律ヲ造ッテモ自由ニ任セルト云フコトニナッタナラバ、此精神病院法ナルモノハ殆ド適用ガナイ、縱シ適用ガアルトシテモ、其適用タルヤ極メテ少イモノト言ハナケレバナラヌ、ソレ故斯カル堂々タル法律ヲ造ッテモ、先刻政府委員ノ御話ニナリマシタヤウニ、國家ノ大目的ニ副ハナイ私ハ考ヘル、此故ニ寧ロ舊式ナル個人ノ精神病者監護法ナルモノヲ廢シテ、絕對ニ精神病院法案ト云フモノニ依ッテ、國家自ラ患者ヲ支配シ監護スルト云フ方ガ、國家ノ目ノ二副ヒハセヌカト思ヒマス、要スルニ精神病院法案ト監護法トノ關係ニ付テ、政府ノ御考ノアル所ヲ承リタイ

○清水市太郎君 議事ノ進行ニ付テ一言申上ゲタイ、質問ハ外ニアリマス、唯今横山君カラノ御質問ヲ謹聽シテ居リマス、精神病ナルモノノ原因ニ遡ッテ居ル、或ハ貧ガ原因ニナル、遠大ナ事ニ違ヒナイイクレドモ、極メテ本案ト關係ガ遠イ、精神病ニナル原因ト言ッタナラバ、教育ノ事モアルダラウ、宗教ノ事モアルダラウ哲學ノ事モアルダラウ、文明ノ程度ト云フヤウナ事モアル、サウ云フ事マデ研究シテモ精神病院法デ何モ彼モ取締ルト云フコトハ出來ナイ、精神病院法案デハ、精神病ニナッタ者ヲ精神病院ニ入レルニ付テ、ドウスルト云フコトニ私ハ問題ヲ限ラナイコトニハ際限ガナイ、精神病ト云フモノハ醫學上其文明トカ配偶トカ云フ事カラ來ルモノデアアルノダカラ、サウ云フ事ノ研究ヲシテハ大變ナ事デアアル、宜シク精神病院法ハ直接ニ精神病ニナッタ者ヲ入レル病院、其範圍ニ限ッテ質問ヲセラレヌコトニハ、此法案ヲ議スル爲メニ幾日掛ッデモ了シ得ナイダラウト思フ、恐ラク議シ得マイ、斯ウ云フ點ニ付テ、私ハ一言注意ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(醫學博士金杉英五郎君) 私モソレハ氣付カザルニハアラズ、併シ一通リアレ位ナコトヲ話シテ置クコトハ、又非常ニ必要ナ事デアルト思フ、ソレデ私ハ許シテ置イタ、大體モウ濟ンダモノト私ハ看做ス、併ナガラ同シヤウナ事ヲ横山君ガ又繰返スト云フコトデアラナラバ、私ハ委員

長ノ資格ヲ以テ差止メマスアレドモ、是マデ一通リ御話ニ
ナタコトハ、是ハ私ハ必要ナ事デアラト思フ、謹聴シテ居
タ

○横山勝太郎君 清水君ノ言ハレル通りデアリマス、私ハ
原因ニ遡テ深ク研究スル意味申シテハナシ、今委員
長ノ御話ノ如ク、大體政府ハドウ云フ考ヲ持テ居ルコト云
フコトダケヲ聴イタノデアリマス、モウ繰返ス心配ハアリ
マセヌ、ドウカ御許シヲ願ヒマス

○政府委員(杉山四郎君) 横山君ノ重テノ御質問
ニ簡單ニ御答致シマスガ、先程私ノ申シタ輪轉管切斷
術ヲヤテ、遺傳ヲ防イデ居リマス云フコトノ州法、之ヲ御
手許ニ出シマスルコトハ、此次ノ會マデ取揃ヘマシテ、各委
員ノ諸君ニ提出致シマス、ソレカラソレニ關スル政府ノ所見
如何ト云フコトデアリマスガ、私ノ申シタノハ、亞米利加
アフリカハ民族ノ衛生上カラ、アウ云フ精神病者ノ結婚ヲ
ヤテ遺傳スルコトノ爲メニ、精神ノ能力ヲ阻害スル、民族
ノ衛生ヲ害スルコト云フコトヲ心配シテ、斯ノ如キ事マデヤテ
居ル、民族衛生ト云フコトノ觀念ニ於テ、亞米利加トシテ
ヤテ居ルコトヲ御參考ニ申シタノデアリマス、是ハ自ラ亞
米利加ニハ、又亞米利加ノ國情トモ申シマセウカ、御覽ノ
通り數十ノ民族ガ益、血ガ「インディア」ミックスシテ、殆ド底止
スルコトヲ知ラナイト云フ國柄ニ於テハ、固ヨリ斯ウ云フ事
ハ必要デアラウカト思ヒマスガ、實ハマダ我國ニ於テ之ヲ大
ニ參考トスルカ否カト云フヤウナ問題ニハ、マダ觸レテ居リ
マセヌ、ドウゾ左様ニ御了承ヲ願ヒマス、次ニ二枚鑑札ノ事
ガ新聞ニ出テ居タヤウナ譯デ、内務省アタリデアサウ云フコト
ヲ考ヘテ居ルコト云フコトノ御質問デゴザイマスガ、ソレハ前
段申上デマシタヤウナ風ニ、花柳病ト云フモノニ付テ、保健
衛生調査會ニ於テ調査致シツ、アリマスガ、何等サウ云
フヤウナ具體的ノ問題ニハ觸レテ居リマセヌ、固ヨリ是ハ新
聞ノ記事ニ何カ誤ヲ傳ヘタモノト御諒承ヲ願ヒタイ、次ニ
防貧救貧ノ問題ニ付テ色々注意ガゴザイマシタガ、是ハ謹
デ諒承致シマス、次ニハ現行ノ精神病者監護法ト、此度提
出致シマシタ精神病院法トノ關係ニ付テ疑ヲ御懷キニナ
シテ質問ガアリマシタガ、此現行ノ精神病者監護法ハ、御
覽ノ通り監置ヲ主ニシテ居リマス、取締ト云フコトヲ主眼ト
シテ居ルノデアリマス、併ナガラ精神病者監護法ノ第九條
ニ「私宅監置室公私立精神病院及公私立病院ノ精神病
室ハ行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使所スルコトヲ
得ス」第二項「私宅監置室公私立精神病院及公私立病
院ノ精神病室ノ構造設備及管理方法ニ關スル規定ハ命
令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウアリマスガ、實際第二項ニ於テ委
任命令ト云フモノガ現行法ハ不十分デアリマス、是ハ横山

君ノ御心配ノ通り、當局モ爾ク考ヘテ居リマス、而シテ本會
ノ際ニ於テモ、高木君ノ現在ノ私立病院ノ取締ヲドウスル
カト云フ御質問ニ對シテ、大臣ハ大ニヤル考デアル、即チ第
九條ノ委任命令ニ依テ、尙ホ調査ノ歩ヲ進メテ取締ヲ十
分ニヤルト云フコトヲ申シマシタガ、是ハ固ヨリヤラナレバ
ナラヌト考ヘマス、併シ此精神病院法ガ出マシタ所デ、實ハ
府縣立精神病院ニ收容シマスル患者ノ豫定數ハ、六千有
餘名位ナモノデアリマス、本法ノ第二條ノ一カラ三マデハ、
先ヅ重ナルモノデアリマスガ「精神病者監護法ニ依リ市區
町村長ノ監護スヘキ者」罪ヲ犯シタル者ニシテ司法官廳
特ニ危險ノ虞アリト認ムルモノ「療養ノ途ナキ者」是等ヲ
大體豫想致シマシテ、其第四號ナルモノヲ加ヘマシタ所デ、
先ヅ六千有餘名位ナ考デゴザイマス、ソレカラ大部分ハド
ウシテモ此府縣立ノ精神病院以外ノ公私立精神病院ニ
俟タナレバナラヌ、而シテ公私立精神病院ノ設備管理等
ニ關シマシテハ、折角調査ノ歩ヲ進メツ、アリマスノデ、是
ハ法律ガ制定公布ヲ見ルト云フ時分ニハ、同時ニ其命令
モ——其規則モ發布シタル考デアリマス、仍テ此精神病院
法ナルモノ、此精神病者監護法ナルモノハ、兩々相待ツ
ベキ性質ノモノデ、一ハ取締ノ規定デアル、一ハ保護治療ノ
規定デアリマスノデ、其意味ニ於テ之ヲ廢止スルト云フコ
トハ出來マセヌノデアリマス、此監護法ハ尙ホ横山君カラ
罪人ト假ニ危險性ヲ帶ビテ居ル者ハ同ジヤウニ見テ、監獄
ト同ジヤウニ之ヲヤッタドウカト云フヤウナ御話モゴザイマ
シタガ、事實吾々ノ同胞デアリマス者、所謂犯罪行為ヲ
致シマスルガ、併シ是ハ實ニ憐ムベキ同胞ノ精神病ニナツテ
來ル所ノ結果デアツテ見レバ、刑法ガ罪ヲ問ハナイヤウニ實
ニ憐ムベキ者デアル、而シテ精神病者ノ中デ必ズシモ此危
險性ヲ帶ビタル者ガ多ク、寧ロ多數ハサウデナイ方ノ——危
險性ヲ帶ビナイ者ガ多ク、一體ノ精神病ニ關
スル立法ハ大體保護治療ト云フコトヲ主ト致シテ制定セラ
ルベキモノト考ヘテ居リマス、此度提出致シマシタル精神病
院法案モ、専ラ出來ルダケ療育得ルモノハ皆ナ治療シテ癒
シタイト云フヤウナ考ヲ持テ居リマス、隨テ此法案ガ愈ミ
兩院ヲ經テ制定公布ノ曉ニハ、何ト申シマスガ、詰リ病院
長ノ外ニ精神ニ慰安ナドノ方法ヲモ講ズル爲メニ、相當ノ
人ヲ頼ミ、幾多ノ實行的手段ヲ考ヘタイト思フテ居リマス、
詰リ保護治療ト云フ事ヲ主トシテ、精神病院法ハ出來テ
居リマス、此現行法ハ監置ト云フコトヲ主ニシテ居ル、取
締ガ主眼デアリマスガ、一方取締ト同時ニ、他面ニ於テ保
護治療ノ機關トシテ病院ヲ造ツテ、サウシテ兩々相待ツテ精
神病院トシテ性質ヲ全クシタイト云フノガ主眼デアリマス

○清水市太郎君 此本案ニ依リマス、或ル場合ニ精神
病者ニ對シ、地方長官ガ精神病院ニ入レルコトニナツテ居
リマスガ、此精神病者ニ對シ精神病院アルカナイカト云フコ
トニ付テ、問題ヲ起ス場合ガアツテ、精神病院ナシ者マデ
精神病者トシテ扱フデシマフコトガ隨分アリマシテ、御家騷動
ナドアリ勝ナコトデアリマス、デ精神病者デアルカナイカ、確
ニ精神病院ニ入レル者デアルカ、入レナイ者デアルカト云フ
コトヲ極メルトハ、地方長官ガ行政監督上カラヤルト云
フコトデ、ドウ云フ風ニ今マデ地方長官ハ極メルトニナツテ
居ルノデアリマスガ、其手續ト其監督方法ト云フ事ヲ承リ
タイ、ソレカラ私ハドウ云フ風ニ完全ニ地方長官ガ精神病
者デアルカナイカト云フコトヲ、確ニ間違ナイ判斷ヲスルカ
知リマセヌガ、ソレハ此地方長官ガサウ云フ事ヲ極メルト
モ、是ハ司法官ニ移シテ、例ヘバ司法官ガ準禁治產者ヲ定
メル時ト同ジヤウニ、辯護人モ使ヘバ檢事ノ申請ニ依ツテ調
ベリ、控訴上告モ出來ルト云フ途ヲ開ク必要ガアリハシナ
イカ、其方ガ完全デハナイカト云フコト、ソレカラ精神病者
ハ言フマデモナク、完全ナル精神意識ヲ缺イタル者デアル、故
ニ其者ハ病院ニ入レル、其病院ニ這入テ居ル中ニ隨分苛
酷ヲ受ケテ居ル、受ケテモ何モ言ハナイ、言フ事ガ出
來ナイノデアル、聞ク所ニ據レバ病院内ニ様々ナ弊害ガア
ツテ、意識ヲ缺イタル精神病者ノコトデアルカラ、隨分待遇ニ
於テモ慘酷ヲ待遇ヲ受ケルト云フヤウナコトモ、屢々耳ニシ
ル所デアル、サウ云フ點ニ付テ政府ハ如何ニ監督取締ヲシ
テ、サウ云フ事ノ無イヤウニシテ居ルノデアルカ、其監督取
締ノ點ハドウカ、ソレカラモウ一ツハ唯今政府委員ノ御話
ニ依レバ、地方長官ノ手ニ依テ精神病院ニ入ルベキ者ガ、
五六千人アルト云フ御話デアル、ソレカラ又政府ハ國庫ヨ
リ精神病院ノ經費ニ對シテ、二分ノ一トカ幾ラカノ補助ヲ
スルト云フコトデアリマスガ、此國庫ノ補助スル精神病院
ハ幾ツ位アリマスガ、サウシテ其經費ハドウ位ノ補助ヲスル
ノデスカ、其點ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(杉山四郎君) 清水君ノ御問ニ御答申シ
マス、現行法ノ下ニ於ケル扱ヒハ、明治三十三年六月内務
省令第三十五號ノ精神病者監護法施行規則ノ第三條ニ
依ツテ、即チ「私宅監置室」ノ他ノ場所ニ監置セントスルトキ
ハ看護義務者ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ警察官署ヲ經テ地
方長官ニ願出又ハ願出ベシトアツテ、醫師ノ診斷書ヲ添ヘ
ルコトニナツテ居リマス、デ今度ノ精神病院法ハサウデア
ルガ故ニ、府縣立精神病院ニ於テ強制入院ヲ地方長官ガ命
ジマス場合ニハ、此第二條ノ第二項ヲ御覽ヲ願ヘバ分リマス
ガ、即チ「前項ノ規定ニ依リ精神病者ヲ入院セシムルニハ命
令ノ定ムル所ニ依リ醫師ノ診斷アルコトヲ要ス」トアル、而
シテ其命令ノ内容ヲ見マセバ、少クトモ、精神病學ヲ專

攻シタ所ノ醫師二名以上ガ診斷ヲシ、ソレモ少クトモ十日
前ニ診斷シタト云フコトノ條件ヲ具備シテカラ、始メテ入院
ヲ命ズル、斯ウ云フ形ニシヤウト思フテ居リマス、尙ホ是ハ人
權ニ關係ガアリマスカラ、第九條ニ持ッテ行フ、本法又ハ本
法ニ基キテ發布スル命令ノ執行ニ關シ行政官廳ノ處分ニ
不服アル者ハ訴願スルコトヲ得行政官廳ノ違法處分ニ由
リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スル
コトヲ得、ト斯ウ云フ風ニ訴願ノ途ヲ開イテ居リマス、ソレ
カラ第二ノ地方長官ガ、即チ行政官廳ガ之ヲ認定スルコト
ヲ止メテ、之ニ代ユルニ禁治產ヲ決定スル如ク司法官ニヤ
ラシタラドウカト云フ御質問デアリマスガ、實ハ現行ノ監護
法ニ於テ、此監護監置ト云フコトヲ許可スルノハ、行政官
廳トナシテ居リマスノデアリマシテ、感化院法ニ依リテモ矢張
監護ト云フ立前カラ地方行政官廳ト云フコトニナシテ居リ
マス、御説ノ如ク現ニ歐米ノ國ニ於テハ、矢張今清水君ノ
御質問ノヤウニ、即チ司法官ノ決定ニ依リテ入レルト云フ
立法的形式ヲ取ッテ居ルモノモアリマスガ、我國現行ノ規定
ハ既ニ行政官廳ト云フ立前ニシテ居リマス、殊ニ元來ノ趣
意ガ罪人扱ヒニスルト云フコトヲ全ク避ケタイ、飽マデ吾
ノ憐ムベキ同胞ヲ勞シ、其同胞ヲ治療救護シヤウト云フ立
前デアリマスカラ、矢張是ハ行政官ノ方ノ見地カラ見ル方ガ
宜クハナイカト考ヘテ、行政官廳ガ認定ヲシテ入レルト云フ
ゴトニシタノデアリマス、ソレカラ第三ニ補助ノ點ニ付テ御
尋デゴザイマシタガ、概略申上ゲマス、道府縣立精神病院
ハ、先程十箇年ト申シマシタガ、アレハ誤リテ、五箇年ノ計
畫デアリテ居リマス、併シ財政ガ許シマスレバ、固ヨリ十箇年
デアリタイノデアリマス、サウシテ完成後ニ至リマシテ、收容
スル豫定人員ハ六千二百九十六名デ、完成マテニ要シマ
ス即チ建設費、ソレカラ色々ノ器具備品等ノ調度諸品費、ソ
レガ總額五百七十二万九千三百六十圓、其中半分ハ國
ガ補助スルト云フコトニナシテ居リマス、此補助ノ事ハ勅令ノ
第三條ニ委任シテ居リマスガ、其勅令ノ内容ヲ申シマスレ
バ、建設費調度諸品費ノ二分ノ一ヲ補助スルト云フコトニ
ナシテ居ルノデアリマス、サウシテ此臨時費總額ノ半分、即チ
二百八十六万四千六百八十圓ト云フモノハ、國ガ負擔スル
ノデアリマス、ソレカラ完成後ノ經常費ハ年々百七十万零
百圓デアリマス、此方ハ國ガ六分ノ一補助ノ積リデアリマス
ノデ、此額ガ二十八万三千三百五十圓、斯ウ云フ事ニナ
シテ居リマス

タノデス、檢事ガ入ッテト云ウテ罪人扱ト云フ譯デアリマ
セヌ、本人ノ權利義務ニ非常ナ影響ヲ及ボス事デアルカラ、
其保護ヲスル爲メニ行政官廳ニ任セルヨリ、司法官ノ方ヘ移
スノガ宜イデハナイカト云ウタノデアリマス、或ハ九條ガ行政
訴願ノ途ガアルトシテモ、多クハ上ニ厚ク下ニ薄イモノデ、
又容易ニ決セラレナイ、サウ云フ不完全ナル方法ヨリ、寧ロ
司法官ノ方デアルノガ本人ノ爲メデハナイカト御尋シタノデ
アリマス

○政府委員(杉山四郎君) 先程私ノ御答致シタ事ガ
違タカ知レマセヌガ、能ク唯今ノ御趣旨ハ分リマシタ、前
段申上ゲルヤウニ之ヲ司法官ノ方デアルコトニナリマス、
現行法ノ精神病者監護法ノ立前ト違タ立前ニナリマスカ
ラ、是ハ兎ニ角專門家二人以上ニ診セテ、大丈夫精神病
者デアルト云フ事ヲ專門ノ見定メルコトガ出來テ、初メテ
地方行政官廳ガ強制入院ヲサセルノデアリマスカラ、決シテ御
心配ノヤウナ權利利益ニ障害サレルヤウナ事ハナイヤウニ
思ヒマス、ソレニ付テハ當局トシテ最善ノ注意ヲ加フル積リ
デアリマス、現ニ佛蘭西ノ如キ、普魯西ノ如キモ、行政官廳
ヤッテ居リマス、旁ミドウカ本案ノ趣旨ヲ御再考アラント
ヲ希望致シマス

○齊藤紀一君 政府委員ニ御尋致シマスガ、此精神病院
法案ニ付テノ唯今ノ御説明ハ大體分リマシタガ、ドウモ甚
ダ了解ニ苦ム點ガアリマス、ソレハ唯今政府委員ノ述ベラレ
タヤウニ、一ハ取締法デアリ、一ハ精神病監護法ニ基イテ
此案ガ出來タトスレバ、眞ノ規則ニナッテハ居ラヌト思フ、
何トナレバ精神病監護法ハ、一部ノ人ノ精神病ニ關スルモ
デアッテ、多クノ者ハ疎外サル、ヤウニナルト思フ、私ハ明治
四十一年カラ四十二年マデ殆ド文明國ノ精神病院ヲ視
察シタノデアルガ、何レノ國ニ於テモ精神病者ノ一部ヲ保
護シ監護スル所ハアリマセヌ、苟モ精神病ノミナラズ、日本
デ言フ癲癇ノ如キ、或ハ白痴ノ如キ者スラ、悉ク皆患者トシ
テ保護サレル、殊ニ精神病ニハ色々ノ精神病ガ歐羅巴ト同
ジヤウニ現レテ居ル、日本ノ法律上デハ單ニ心神喪失者ト云
フヤウナ意味ニナッテ居リマスガ、決シテソナ單純ナモノデ
ハナイ、偏執狂ノ如キ、放火狂ノ如キ、訴訟狂ノ如キ、種々
難多ナ精神病者ガアル、斯ノ如キ精神病者ト雖モ、文明國
ニ於テハ悉ク監置スル、殊ニ日本デハ癲癇ノ如キハ何トモ
思ハヌガ、之ニ對シテハ恐レベキ實例ガ幾ラモアル、其發作
ノ際ニ非常ナル犯罪ガ行ハレル、強姦トカ強盜竊盜モ行ハ
レル、斯様ナ者モ國家ノ安寧ヲ保ツ上ニ於テ、社會政策上
ニ於テ、皆悉ク監置スル、サウ云フ點ハ如何ニナリマスガ、殊
ニ日本ノ今日マデノ精神病者ニ對スル規則ト云フモノハ甚
ダ不完全デアル、例ヘバ私ノ處ナドヘ精神病者ガ入院スル、

ソレガ殺人放火ナドノ重罪ヲ犯シテ居ル、其精神病者ヲ一
箇月カ二箇月入レテ置クト、本人財政困難ノ理由カラ退
院シタイト云フ、ソレカラ承認ヲ願ハセルト、ソレナラ出シテ
宜カラウトナッテ出シテヤル、所ガソレヲ監督スル警察官ハ其
儘放任シテ置ケカラ又犯罪行為ヲスル、是ハ吾々ノミナラ
ズ、精神病ニ從事セラル、人ハ皆ナ實驗セラル、所デア
ル、ソレカラ療養ノ途無キモノトカ、必要ト認ムルトカ、貧弱
ナ事ヲ揭ゲデアリマスガ、政府委員ノ説ト此法案ハ何レニ
歸シマスルカ、政府委員一般精神病ヲ保護スルト云フ言明
ノ如ク唯今吾々ハ聽取シマシタガ、此法ニ依リマスドノ點
ニ於テ、一般精神病ヲ保護シマスガ、苟モ我が日本モ既
ニ自ラ文明國ト稱シ、五大強國ノ列ニ入ッタ今日ニ當ッテ、
コンナ不具ナル法律デナク、進ンデ完全ナル將來文明國タ
ル體面ヲ保ツ上ニ於キマシテ、立派ナル外國ノ法ニ則ッテ此
法案ヲ修正シテ貴ヒタイト云フノガ、私ノ趣意デアリマス、ソ
レカラ第二ノ質問ハ第六條ニ斯ウ云フコトガアリマス、第二
條ノ規定ニ該當スル精神病者ニシテ主務大臣ニ於テ特ニ
必要ト認ムルモノハ之ヲ國立精神病院ニ入院セシムルコト
ヲ得、此條項ニ依リマス、既ニ國立精神病院ガ設立サレテアル
ガ如キ狀態デアリマス、甚ダ了解ニ苦シマスカラ之ヲ説明
ヲ願ヒタイ、ソレカラ精神病院法ト言ヒマス、精神病院ハ
單ニ國立バカリデハナイ、今日ハ私立公立ガ澤山アリマスガ
ラ、私ハ此問題ニ付テハ國立ノ二字ニ加ヘテ、國立精神病
院トシタイノガ意見デアリマス、是等ニ付テ私ノ希望スル
ハ、精神病全體ト云フコトニシテ載キタイ、政府委員ノ所見
ハ如何デアリマスガ御尋致シマス

○政府委員(杉山四郎君) 齊藤君ノ御質問ニ御答申
シマスガ、齊藤君ノ御見解ハ詰リ精神病者ヲ收容スル精
神病院ハ、海外ニ在ッテハ主トシテ監治主義デアアル、危險ナ
ル者ヲ危險ナラシメナイヤウニ隔離スル、拘禁スル主義デア
ル、各國精神病者ヲ保護スルト云フ趣旨ノ所ハナイ、故ニ
現行監護法ノ...

○齊藤紀一君 政府委員ノ説明ガ違フト大層長クナリ、マ
スカラ、誤解ノナイヤウニ一言申シテ置キマス

○委員長醫學博士金杉英五郎君) 質問スル要領ダゲ
ヲ、サウシナイト又分ラナクナリマス

○清水市太郎君 是ガ司法官ノ方デ、檢事ノ申請ニ依
テ辯護人モ干與シテ調ベル、ソレガ如何カ罪人扱ノヤウニ御
答ニナッテハ、私ノ意トハ違ッテ居リマス、本人ノ利益ノ爲
メニ法律ノ爲メニ、不利益ヲ被ラヌヤウニト云フ精神デ申シ

○齊藤紀一君 要領ダゲヲ申シマス、私ノ言葉ガ足ラナ
カッタ知ラヌガ、西洋デハ悉ク保護シテ居ル、一般ニ保護シ
テ、居ルソレガ爲メニ日本ノ如キハ千人ニ對シテ一人位シカ
アリマセヌガ、西洋各國ハ何レノ國ニ參リマシテモ、千人ニ
對シテ三人以上アリマス、サウ云フ狀態デアリマス、決シテ
日本バカリ保護スルノデアリナイ、西洋各國ガ一般ニ保護シ
テ居ルニ拘ラズ、何故ニ日本ガ一部ノ精神病ヲ保護シテ、

○齊藤紀一君 要領ダゲヲ申シマス、私ノ言葉ガ足ラナ
カッタ知ラヌガ、西洋デハ悉ク保護シテ居ル、一般ニ保護シ
テ、居ルソレガ爲メニ日本ノ如キハ千人ニ對シテ一人位シカ
アリマセヌガ、西洋各國ハ何レノ國ニ參リマシテモ、千人ニ
對シテ三人以上アリマス、サウ云フ狀態デアリマス、決シテ
日本バカリ保護スルノデアリナイ、西洋各國ガ一般ニ保護シ
テ居ルニ拘ラズ、何故ニ日本ガ一部ノ精神病ヲ保護シテ、

一部ノ精神病ヲ放任スルカト云フノデアリマス

○政府委員(杉山四郎君) ソレハ齋藤君ト同感デアリマス 出来ルダケ保護スベキ目的ヲ以テ國立ノ精神病院、縣立ノ精神病院ニ入レテ療シテヤリタイ、一人デモ同胞ノ中カラ、此憐ムベキ弱者ヲ救上ゲタイト云フノガ、精神病院法案ノ骨子デアリマス、唯、先程申シマシヤウニ、大體大キイ所デ二百五十人、中位ノ所デ、百五十人、小サイ所デ五十人位、元々政府ノ豫定シテ居リマス病院ノ收容力ガ限リガアリマスカラ、此完成ヲ致シマスル後ト雖モ、六千有餘名ノ精神病患者ヲ收容スルニ足リマセヌ、固ヨリ出来マスナラバ、亞米利加ノ如キハ全部病院ニ收容シテ居ル、英吉利ヤ佛蘭西ハ三分ノ一ヲ收容シテ居ル、セメテ英吉利同盟國ヤ佛蘭西ノヤウニ行キタイト思フデ居リマスガ、如何セシ衛生當局ノ考フルヤウニモ參リマセヌノデ、規模ハ甚ダ小デアリマスガ、先ヅ此位ノ所ニ止ムルノハ已ムヲ得ヌノデアリマス、齋藤君ノ御趣意ハ全ク同感デアリマス、ソレカラ第一ノ御尋ノ國立精神病院ノコトデアリマスガ、是ハ道府縣精神病院ニ入レタケデハ、ドウモ危險デアラ、ソレハ不充分デアラ、故ニ危險性ノ者又ソレニ準ジマスルヤウナ者、ソレハ或ル專門家ノ考デアリマスガ、療リ得ル者デモ、其構造ノ不充分デアラ爲メニ、其處ハ入レテハ折角療リ得ル所ノ見込ノアル者デモ、療ラズニシマフサウ云フヤウナ者ハ、設備構造ヲ完全ニ致シマス所ノ國立精神病院ニ入レル、斯ウ云フ立前ニ致シマシテ、道府縣立ノ外ニ國立精神病院ヲ國家ノ財政ノ許ス範圍ニ於テ、出来ルダケ速ニ造リタイト云フノガ趣旨デアリマス、第三ノ御尋ハ恐縮デアリマスガ、モウ一度願ヒマス

○齋藤紀一君 極ク簡單デゴザイマスガ、サウシマスト政府ノ趣意トシマシテハ、國立病院ハ西洋デハドノ國ニ參リマシテモ、癡ル精神病院ト癡ラヌ精神病院トアリマス、我國ノ國立精神病院ハ唯今ノ御説ニ依リマス、西洋ノ何レニ當欲ル精神病院デアリマスガ

○政府委員(杉山四郎君) 詰リ危險性ヲ帶ビテ居ル者デアリマスカラ、其點カラ申シマスト私共專門家デアリマセヌカラ分リマセヌガ、癡ラナイ者デアルト思ヒマス、ソレカラ他面ニ於テハ、府縣立ノ精神病院デハ構造ニ多少ノ遺漏ガアルカラ、ソレヨリハモト完全ナル精神病院ヲ造テ、其處ヘ入レタナラバ療リ得ル、完全ナル意味ニ於テ精神病院ヲ造テ、療リ得ル見込ノ者ヲ造ラウ、詰リ今御尋ノ兩方ニ適用スル意味デアリマス

○齋藤紀一君 サウシマス西洋デノ犯罪精神病、サウ云フ者ハ政府デアドウスル御考デアリマスガ

○政府委員(杉山四郎君) 丁度今御尋ノ犯罪精神ト

云フコトニナリマシテ、危險性ノ者ヲ入レルノデアリマスカラ、是ハ司法省アタリノ希望ニ合致スル譯デアリマス

○土屋清三郎君 大體ハ了解致シマシタガ、此第二條ノ第四號ノ前各號ニ掲クル者ノ外、地方長官特ニ入院ヲ必要ト認ムル者ト云フノハ是ハドウ云フ場合デアリマスガ

○政府委員(杉山四郎君) 土屋君ノ御尋ニ御答致シマスガ、自費ノ療養ノ途ナキ者ト云フノデナク、自分ノ費用ヲ入院ヲ願出タ者ガ主トシテ之ニ當ルノデアリマス

○丸山巖一君 本案ニ付テニ三點質問致シマス、第一ハ是マデ精神病患者監護法ニ依テ監護シテ來タ所ノ精神病患者中、既ニ癡テ監護ノ必要ノ無イ者モアリマスガ、サウ云フ者ニ對シテモ依然トシテ警察杯ガ干涉シテ、再び其者ヲシテ精神ニ異狀ヲ來スヤウナコトニナルノガ往々アルノデアリマス、又聞ク所ニ依レバ或ル相續事件ニ付テ、或ル相續ヲ希望シテ居ル者ニ親族ノ者ガ附イテ、眞ノ相續者ヲ發狂ト認定シテ、遠隔ノ東京アタリニ運出シテ監置シテ、殆ド數十年間監置シテ、サウシテ一方デハ發狂ノ狀態ヲ他知知ル事モ出来ヌ、本人ハ依然トシテ相續者デアラ、積リデ居リマシタ所ガ、本人ハ監置サレテ居ル間、其財産ガ他ノ相續者ノ手ニ移シマシタコト云フ實例ヲ聞イテ居リマスガ、此發狂者ト云フ者ニ對シテ、此法律ガ出来タ以上ハ、是等ノ者ヲ再診斷ヲ致シ、十分注意ヲ拂ヒ、之ヲ府縣精神病院若クハ國立ノ精神病院ニ入レルノデアリマスガ、之ニ付テ施行法デモ規定シテアルノデアリマスガ、次ニ第二條ニ、地方長官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル精神病患者ニ云々ト云フコトガアリマスガ、四號マデ掲ゲテデアリマス、此意味ニ於テ精神病患者ト云フコトガ決テ居ルノデアリマスガ、此所ニ罪ヲ犯シタル者ニシテ司法官廳特ニ危險ノ虞アリト認ムルモノトアリマスガ、此精神病患者ニシテ罪ヲ犯シタル者トアル以上、特ニ危險ノ虞アリト認ムルモノト云フノハドウ云フ意味デアリマセウカ、法文ノ上カラ見レバ何カ意味アリ氣ニ見エマスガ、假ニ精神病患者デアラヤ否ヤト云フコトガ未定デアッテ、罪ヲ犯シタル者ニシテ、司法官廳ガ特ニ危險ノ虞アリト認ムルモノナラバ、之ヲ精神病患者トシテ病院ニ入レルコトガナイトモ限ラヌノデアリマス、ケレドモ精神病患者ト云フコトガ前提デアッテ、而シテ其精神病患者ニシテ罪ヲ犯セバ精神病患者トシテ罪ヲ犯シタル者トシテ入院スル事ノ條件ガ備テ居ルノデ、特ニ司法官廳ガ危險ノ虞アリト云フ事ヲ掲ゲヌデモ宜カラウト思フノデアリマス、之ト關聯シテ聽キタイノハ、精神病患者ノ範圍ハ横山君カラ本會議デ承テ居リマスガ、精神耗弱者マデ其中ニ這入ッテ居ルト云フコトデアリマス、其邊カラ考ヘマスガ、精神病患者ト云フ者ノ範圍ガ餘程廣クナッテ居リマスガ、爰ニ私ノ疑問トスルノハ例ヘバ窃盜其他重キ罪

ヲ犯ス所ノ習癖ノアル者ガ——此習癖ノアル者ヲ、精神病患者ノ中ニ入レベキモノデアラヤ否ヤト云フコトニ付テ、當局ハドウ云フ考ヲ持テ居ラル、カ、私共ハ窃盜杯ノ十犯二十犯ト累ナッテ者ハ、一種ノ精神病患者ト思ヒマス、又屢、殺人罪ヲ犯スト云フコトモ同様デアッテ、或ル事柄ガ動起ナッテ犯罪ヲ行フヤウナリマスルノデアッテ、ソレデ此精神耗弱者マデモ精神病ニ入レルナラバ、此習癖ノアル者モ精神病患者ト認メテ精神病院ニ入レルト云フコトガ必要デハナカラウカ、寧ロ斯ウ云フ者ハ國立病院ニ入レタ方ガ、社會ノ公安ノ爲メニ宜カラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ者ヲ普通ノ發狂者ト認ムルヤ否ヤト云フコトヲ伺ッテ置キタイ、第三ハ清水サンカラ質問ニナリマシタガ、是ハ前ニモ一寸申シマシタ通り、或ル事情ノ爲メニ、精神病患者ニ非ズシテ精神病患者トシテ扱ハレテ居リ、又ハ精神狀態ノ舊ニ復シタ者モ、精神病患者トシテ慘酷ナ扱ヒヲ受ケテ居ル者モアリマスルノデ、斯ウ云フ事ハ聞イタコトモアリ又見タコトモアリマスガ、他ニモ多々アラウト思ヒマスガ、例ヘバ精神耗弱者ノ如キ者ハ、認定ト云フコトハ餘程困ル事デアッテ、輕々シク認定スルコトニナレバ、人權ノ上ニ於テハ釜數イ事デアラウト思ヒマス、又忽セニスレバ之ヲ保護スル途ニ背クト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、此事ニ付テハ民法上ノ規定モアルコトデアリマスカラ、其規定ヲ準用スルヤウナコトニデモ致シテ、サウシテ完全ナ取扱方法ヲシタナラバ、公平ナ結果ヲ得ルデアラウト思ヒマスガ、其邊ノ御考ハ如何デアリマセウカ、最後ノ問ハ半バ意見ニ屬シマスガ、必要デアリマスカラ、政府ノ御考ヲ御聽シタイト思フノデアリマス

○政府委員(杉山四郎君) 第一ノ御尋ハ、從來モ弊害ノアル事デアリマスカラシテ、此精神病院法案ナルモノガ、愈々制定公布ヲ見デ之ヲ施行スル場合ニハ、政府ハ一々私宅監置ニナッテ居ルコロノ精神病患者ヲ再審査——再診斷デモスルノ用意アリヤ否ヤ、斯ウ云フ御質問ト心得マスガ、何レ此法律ガ施行セラル、場合ニハ、中央廳ト特ニ專門家ノ技術者ヲ置キマシテ、地方ヲ巡察セムル考ヲ持テ居リマス、元ヨリ其數ニモ限りガアリマスカラ、津々浦々マデ私宅監置ノ實況ヲ觀察シテ、徹底ニスルコト云フコトハ如何カ知ラヌガ、先ヅ其邊ニ付キマシテ、地方廳ニ向ヒマシテモ、能ク取締法ヲ講ゼラル、ヤウニシテ、出来得ルダケ其弊害ノ無イヤウニシタイト考ヘテ居リマス、第二問ノ本案第二條ノ規定ニ依リ設置スル精神病院ニ入院セシムルコトヲ得「トアル、其二ニ「罪ヲ犯シタル者ニシテ司法官廳特ニ危險ノ虞アリト認ムルモノ」トアリマスノハ、是ハ實ハ司法省ノ希望ニ依ッテ、斯ウ云フ第二號ガ加ッテデアリマス、故ニ最モ明確ナ

ル答辯ハ司法部ノ政府委員ヨリ御聴取ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シ司法部當局ノ御説明ヲ漏レ聞クト、大阪ニアツサウデスガ、何通火ヲ放ケルカ分ラヌ、併シ能ク調べテ見ルト、狂人デ私宅ニ監置セラレタ所ヲ脱ケテ來デハ火ヲ放ケル、サウ云フ者ヲ意味スルト云フコトデアリマシテ、別段深イ意味ハ無イヤウニモ聽イテ居リマスガ、尙ホ之ヲ明確ニスル爲メニ、司法部當局ノ政府委員カラ御聴取ヲ願ヒタイ、ソレカラ第三ノ御質問、即チ犯罪常習性ノ者ニ付テハ、矢張收容スルノ考カト云フ御質問ニ對シマシテハ、所謂常癖即チ犯罪常習癖者ナルモノハ、偏執狂ト云フ立派ナル精神病者デアリマス、其等ハ固ヨリ收容スル考デアリマス、ソレカラ地方ノ行政廳ニ此權限ヲ與フルコトハ、固ヨリ外國ニモ其例ガアリマス、是ガ立派ナル精神病者デアルト云フコトノ前提ノ下ニ精神病院ニ容レルノデアリマスカラ、地方ノ行政廳ニ此權限ヲ與ヘテモ、別段ニ差支アルマイト考ヘルノデアリマス、前提ガサウデアリマス

○委員長(醫學博士金杉英五郎君) 横山君マデアリマスカ

○横山勝太郎君 アリマス

○委員長(醫學博士金杉英五郎君) 御有リナラ失禮デスガ簡明ニ御願シタイ

○横山勝太郎君 私人隨分簡明ニヤテ居ル積リデアリマスガ、尙ホ更ニ簡明ニヤリマセウ、今ノ丸山君ノ質問ニ關聯シテ承リマス、或ハ丸山君ノ御質問ニ對シテ御答辯ガナカクヤウデアリマスガ、民法第七條ノ「心神喪失ノ常況ニ在ル者」及刑法第三十九條ノ「心神喪失者」是ガ本案ノ中ニ包含スルト云フコトハ、内務大臣ガ本會議ニ於テ御答ノ通りデアリマスガ、若シ違ヘバ此處ニ御説明ヲ願ヒタイガ、ソレハ違ヒハナカラウト思フ、唯此刑法第三十九條ノ「心神耗弱者」ノ行爲トシテ刑ヲ輕減セラレタル者ヲ、本案ニ於テ精神病者トシテ取締ラスルカ、如何ト云フ點ニ付テ、内務大臣ハソレモ包含スルト云フコトヲ本會議デ御答辯ニナリマシタガ、是ハ如何ク御間達デハナイカト思フテ居リマス、心神耗弱者トハ御承知ノ如ク浪費者ノ如キ者デ、精神ノ多少耗弱シタル者ノ所謂能力問題カラ申シマスレバ、民法第七條ニアルモノハ禁治產ノ宣告ヲ受ケルモノデ、サウシテ刑法第三十九條ニ於ケル心神耗弱者ハ、準禁治產ノ方ニナルノデ、此間ノ取扱ハ民法カラ行テモ、刑法カラ行テモ、全然トハ申シマセヌガ、非常ニ取扱フ異ニシテ居ル程度ニアルモノデアハ、之ヲ同一ト見テ精神病者ノ中ニ入ル、コトハドウカト考ヘル、ドウモ少シ金ヲ餘計使シタ位デ、直チニ國立病院其他ノ精神病院ニ監置スルト云フコトハ、本案ノ精神デハナイト

思ヒマスガ、此點ヲ確メテ置キマス

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今ノ御質問ハ、先程丸山君ノ御質問中ニモゴザイマシタノヲ、御答ヲ漏ラシテ居リマシタノデ、茲ニ合セテ御答申上デマスガ、横山サンカラ本會議ノ際ニ大臣ノ説明中、心神喪失者ノ外ニ心神耗弱者ヲ含ムト申上デマシタノハ、是ハ本會ノ際デアリマシタカラ、大體ニ於テ單ニ心神喪失者ノ外ニ耗弱者ヲ含ムト申シタノデアリマスガ、今之ヲ細カク別ケテ申上ゲル機會ヲ得マシタノデ、趣旨ヲ明確ニスルコトガ出來マシタノハ、非常ニ好都合ト存ジマス、今ノ御質問ニ對シテハ、彼ノ「フエブルマインデット」所謂中間異常者、サウ云フ者ヲ含ムト云フ趣旨デアリマス、右様御諒承ヲ願ヒマス

○横山勝太郎君 前ノ答辯ガ私ニ能ク了解シテ居ラヌ點ガアリマスカラ、是モ簡單ニ質問致シマス、此法案ハ精神病院法トアリマスガ、内容ハ寧ろ精神病患者ニ關スル規定デ、病院法トシテハ私ハ名目ト實質ト相符合セヌヤウニ思ヒマスガ、是ハ暫ク別ノ問題トシテ、ソレニ矢張關聯シテ御尋シタイノハ、政府委員カラモ御話ガアリマシタガ、此精神病院法ニ基イテ出來タ法令ト云フモノハ、明治四十一年警視廳令ト云フモノガ、東京府下ニ於テ行ハレテ居リマス、此警視廳令ニ依ルト云フト、多少此病院ノ設立構造等ニ付テ取締ガアリマス、患者ノ待遇等ニ付テ取締ガアリマスガ、是ハ兎ニ角病院ニ關スル取締規則デアリマスケレドモ、甚ダ不完全デアルト思フノデアリマス、併シ是ハ警視廳管内ノミニ行ハレモノト、各府縣ニハ無論行ハレヌノデアリマス、ソレデ此法案ガ通過スルレバ、一般ニ互フテノ病院取締ニ關スル取締法規ガ出來ルノデアリマスカドウデアリマスガ、御答ガアツタヤウデアリマスガ、能ク了解致シマセヌカラ今一應……

○政府委員(杉山四五郎君) 後段御尋ノ通りデアリマシテ、現行監護法ノ第九條ニ依リマス先程申シマシタ第九條ノ第二項ニ「私宅監置室公私立精神病院及私立病院ノ精神病室ノ構造設備及管理方法ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマシタ、現行ノ省令ハ實ハ不備ナ點點ナカラザル所ガアリマスカラ、折角調査中デアリマシテ、此精神病院ナルモノト、別ニ精神病者監護法ノ第九條ニ依ル委任命令、省令ヲ以テ規定シテ居リマスガ、尙ホ之ヲ十分完全セシメ、精神病ノ私宅監置ニ對スル構造及ビ其管理監督ニ關スルコトヲ精細ニ規定スル考ヲ持テ居リマス

○横山勝太郎君 尙ホ精神病ノ範圍ニ付テ、モウ一ツ具體的ニ確メテ置キマス、前回ノ本會議ニ於テ極端ナル無政府主義者、若クハ或ル種ノ社會主義者ハ包含シナイト云フ答辯ヲ得マシタ、恐ラクサウダラウトハ思ヒマスガ、ソレニ付

テ尙ホ具體的ニ例ヲ擧ゲテ、政府ノ答辯ヲ得テ置カナケレバナラスト思ヒマスノハ、日本ニ於テハ常ニ有ル事デアリマスガ、直訴狂ト稱スル者、嚴格ニ論ズレバ、是ハ不敬罪ヲ構成スルト云フヤウナ場合ニ、直訴狂デアル偏執病者デアルト云フノデ、罪ヲ論ゼズニ濟シテ居ル、實際偏執病者デアッタカドウカハ知リマセヌガ、陛下其他皇族ノ御方、ノ行啓臨幸ガアル度ニ、御承知ノ通り警視廳デハ行政執行法ヲ、利用ト云フカ濫用ト云フカ、之ヲ使用シテサウシテ申上ゲタ種類ノ人達ハ、悉ク之ヲ警察署ニ二十四時間拘留サヤデ居ルノデアリマス、此直訴狂者ノ如キ者ハドウ云フコトニナリマスガ、ソレカラ或ル著者ノ吾ニニ教ヘル所ニ依レバ、名前ハ祕シデアリマスカラ申シマセヌガ、西曆千八百七十六年ニ、當時ノ大統領ノ施設ヲ以テ人民ヲ虐待スルモノト憤慨シ、天ガ子ヲシテ大統領ヲ誅セシムルモノナリト告白シ、停車場ニ於テ之ヲ暗殺シタト云フ例ガアリマス、而シテ之ヲ偏執狂ナリト認定シタト云フ歴史上ノ事實ガアル、尙ホ日本ニ於テモ、明治二十二年デアリマシタカ、大津ニ於テ露西亞ノ皇太子殿下ヲ狙撃シタ津田三藏デアッタト思ヒマスガ、ソレカラ明治二十八年講和條約ノ際ニ馬關ニ於テ李鴻章ヲ狙撃シタ某、是等ハ或ル專門學者ニ言ハセルト、精神病ノ中ノ偏執狂デアルト云フコトニナッテ居ル、是ハ政府委員ノ仰セノ通り、保護スルニシテモ、社會ノ秩序ヲ保ツト云フ上カラ申シマシテモ、餘程危険ナモノデアアル、斯ノ如キ者ハ餘程嚴重ニ取締ラスル必要ガアルノデアリマス、其他色情狂ト稱スル者、或ハ訴訟狂ト稱スル者、皆是ハ偏執狂ニ屬スル者ノヤウニ承ッテ居ル、固ヨリ普通ノ色情狂訴訟狂ト云フヤウナ者ハ、是ハ別ニ大シタ危険モナイ、病院ニ監置スル程ノ危険ハナイト思ヒマス、併シ今日進歩シタル專門學者ノ說ノ定義ヨリシテ離スコトハ出來マセヌ、殊ニ先刻申シマシタ露西亞ノ皇太子或ハ李鴻章ヲ狙撃シタト云フヤウナ者ガ、偏執狂デアルト云フコトデアリマスレバ、當然本案ニ依リテ監置スベキモノデアリマスカドウカ、是ハ本文ノ適用ニ關スルコトデアリマスシ、事ハ司法問題ニモ關係シマスカラ、聽イテ置カナケレバナラスト思ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 直訴狂ノ事ニ付テ最初御尋ガアリマシタガ、偏執狂ノ一病狀デアアル好訴狂、好訴訟、是等ハ固ヨリ精神病ノ部類ニ入ルノデアリマスカラ、是ハ精神病院ニ入レルノガ本案ノ趣旨デアリマス、其他色々各狂ノ名前ヲ掲ゲラレマシタガ、是等ハ何レ入院ヲ命ジマスル前ニ專門家ニ見セテ、苟モ精神病者ト認ムベキ部類ニ入ル者ハ、病院ニ收容スル考ヲ持テ居ル、元來ガ危険ノ者ヲ他ト交通セシメナイヤウニ、公安ヲ害セシメナイヤウニト云フ趣旨ト、ソレカラ精神病者ヲ慮シテ保護治療ヲシテヤリタイト

云フ趣旨モ加味シテ居リマスカラ、其邊ノ所ニ於ケル根本的ノ主義ヲ前提ト致シマシテ、御諒察ヲ願ヒタイ

○横山勝太郎君 尙ホ確メテ置キマスガ、サウスルト所謂精神病ナルモノ、認定ハ、一ニ専門家ノ醫師ノ鑑定ニ一任スルト云フコトニナルヤニ拜承セラレマス、サウスルト從前ヨリハ今日ノ方ガ非常ニ進歩シテ居ル、尙ホ更ニ先刻政府委員ノ御話ノ如ク、斯道ノ學問ノ研究ガ發達シテ行クト同時ニ、澤山精神病ニ關スル立派ナ學者ガ出ル、サウスルト隨テ精神病ト云フ者ヲ、醫師ノ方カラ専門的ニ鑑定シテ、精神病者ナリト云フ者ノ數ガ漸次擴テ來ルト思フ、今日ノ程度ノ學問ニ於テハ、精神病ヲ無イト言テ居ル者デモ、是ヨリ進ンデ學問ガ發達スルト同時ニ、漸次精神病ノ範圍ガ擴ガテ來ルト云フコトハ、是マデノ歴史ニ徴シテ稍、想像スルコトガ出來ルサウスルト此法案ニ對スル所謂精神病ト云フモノハ、醫學ノ發達ニ伴レテ、恰度誤謬球ノ擴ガテ來ルヤウニ擴張シテ行クト云フコトニ結論ガナルト思ヒマス、要スルニ之ヲ纏メテ言ヘバ、本案ノ精神病ノ認定ト云フモノハ、一ニ専門學者ノ鑑定ニ一任スル、斯ウ云フ事柄デ、今日ニ於テ是ミト精神病ノ範圍ヲ特定スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ意味ニ聽イテ宜シウゴザイマス

○政府委員(杉山四五郎君) 恰モ傳染病豫防方法ニ於テ、誰ガ虎列刺、誰ガ「ベスト」ト云フコトヲ認定スルハ、一ニ専門家ニ依リテ之ヲ認定スル外ハナイ、隨テ精神病院法ヲ執行スルニ際シテ、之ガ果シテ精神病アルカナイカト云フコトハ、矢張専門技術者ニ待ツヨリ外ハナイノデアリマスカラ、其爲メニ今マデ精神病ノ知識ノ劣テ居ル技術者ガ、精神病デナイ者ヲ精神病ト見テ居タト云フヤウナ事實有リヤ否ヤハ、私ハ技術者デアリマセヌカラ、サウ云フコトハ深く立入ッテ云爲スルコトハ出來マセヌケレドモ、若シ假ニサウ云フヤウナ事實ガアッタトスル——誤レル假定カ知リマセヌガ、サウ云フ假定ヲ前提トシタナラバ、精神病ニ通曉スル醫者ガ出來タナラバ、精神病者デナイ者ヲ精神病者トシテ居ッ、其數ダケハ減譯デス、隨テ精神病學ノ研究ガ進ム爲メニ、病人ノ數ガ殖エルト云フ結論ハ、直チニ出テ來ナイヤウニ存ジマスガ、是ハ見解ノ相違デアリマスカラ、彼此申スノデアリマセヌ

○横山勝太郎君 政府委員ノ唯今ノ御話デハ、精神病者ヲ保護スルハ、監置主義デアルト承ハリマシタガ、内務大臣ノ本會議ニ於テノ答辯ハ、私ノ居ル所トハ距離ガアルノデ、了解スルコトガ出來マセナシタガ、恐ラクサウ云フ主義デアツカト思ヒマスガ、私ノ質問ノ趣意ハ本案ハ精神病者ニ對シテ監置主義ヲ執ルカ、非監置主義デアルカ、若クハ折衷主義デアルカト云フノデアリマス、精神病學者ノ說ニ據ル

ト、精神病者ノ治療ハ費用ト勞力トヲ要スル、或種ノ精神病者ハ自由ノ境遇ニ居リ、贅澤ナル邸宅ヲ與ヘテ意ノ儘ニ治療スレバ、本人ガ精神病ト云フ境遇ヲ脱スルニ付テ多クノ便ガアル、程度ノ低イ患者デモ、之ヲ捕ヘテ監獄ノヤウナ病室ニ入レテ、外部トノ自由ヲ杜絶スルト、却テ反感ヲ來タシ、煩悶憂慮ニ陥リ、其度ガ強クナル、元來精神病者デナクトモ、監獄ニ入レラレタリ密室監禁禁見禁止ヲヤルト精神病者ノ如キ状態ヲ呈スル、況ンヤ精神病者ヲ其意ニ反シテ病院ニ入レルト、癡ル患者モ惹ラナイケレドモ、ソレハ多クノ場合手數ト費用ヲ要スルノデ、已ムヲ得ズ病院ニ入レテ居ルノ實際ノ状態デアリマス、ソレデ私ノ質問ハ此法案ノ趣旨ガ、吾々ノ憐ムベキ同胞ヲ——杉山政府委員ノ言ヲ藉リテ言ヘバ、此同胞ヲ少々費用ガ掛ツテモ、社會ガ危險デアツテモ、絕對自由ノ位置ニ置イテ、非監置主義ニ依ルコトガ、本人ノ自由ヲ重シズル上ニ於テ主義ガ一貫スルケレドモ、本人ノ精神病ノ状態ガ加重シテ來テモンレハ構ハヌデ、個人ハドウデモ宜イ、ソナナ者ヲ出セバ社會ガ危險デアルカラ、サウ云フ者ハ監督スルト云フ國家本位社會本位ノ取締ノ規定デアルカドウカ、或ハ寧ロソレデハイケナイカラ、監置非監置ヲ折衷シテ、行政官ノ手心ニ委スルノデアリカト云フコトヲ聽イタノデアリマス、内務大臣ノ答辯ハ言語ノ點カラト距離ノ點カラト、深ク了解シテ居ラヌノデアリマス、此三ツノ主義ノ中何レヲ執ラル、カト云フコトヲ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 保護治療ヲ本主義トシテ居リマス、本法ノ趣意ハ、精神病者ノ憐ムベキ状態ヲ脱却セシムル爲メノ保護治療ヲ主義トシテ居リマシテ、監置ハ主義トシテ居リマセヌ、併シ監置ノ結果——病院ニ入レタ結果、自然公安ノ上ニ危險ヲ防止スルコトガ出來ル、要スルニ御尋ノ前段ノ御趣旨ガ政府ノ趣旨ノ在ル所デス、尤モ本案ノ第二條第二號ノ「罪ヲ犯シタル者ニシテ司法官廳特ニ危險ノ虞アリト認ムルモノ」ニ至リマシテハ、勢ヒ病院ノ中ニ別ノ室ヲ拵ヘテ、サウ云フ危險ノ常習の狂性ヲ帶ビタル者ヲ別ニ扱ヒタイト思ヒマス、強テ形容スレバ折衷主義ト申スノカモ知レマセヌ

○横山勝太郎君 サウスルト禁治產ノ原因ノ止ミタル際ニ於テハ、鄭重ナル司法手續ニ依テ解除スル方法ガアリマス、其點ハ政府委員ハ別ニ意見ガアリマシタガ、何レガ良イカハ後ニ譲リマシテ、若シモ此法ガ本人ノ治療全快ヲ主トスルモノデアラナラバ、患者ヲ監置スルコトノ解除ノ方法ニ付テ、多大ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ、私ノ友人ガ裁判所デ精神病ノ爲メニ重罪ノ判決ヲ受ケテ、巢鴨ノ病院ニ這入ッタノデアリマス、ソレデ解除サセヤウト思ッテ、私ガ病院ニ

往ッテ醫者ニ面會スルト、今日ハ患者ハ靜カデアリマスガ、アレガ病人ノ症狀デアルト言フ、騒イデ居ル日ニ往クト、アノ通り騒イデ居リマスと言フ、物ヲ食シテ居ルト云フ、精神病者ダカラ物ヲ食シテ居ルノゴト言フ、節食シテ居レバ精神病患者ダカラ節食シテ居ルノゴト言フ、何ヲシテモ精神病患者ダト云フノデス、ソコデ私ハ監置ヲ請求シタル檢事ニ語ヲシテ出シタ、出シタ其日ニ宅ニ連レテ來テ一緒ニ飯ヲ食ヒ酒ヲ飲ンデモ何事モ無イノデアリマス、醫者ニ罪ハアリマセヌガ、今日ノ精神病ノ學理デハサウ見エルトカモ知レマセヌ、併シ嚴格ナル司法官ノ手ニ委シテ裁判シタナラバ、サウ云フ者ハ直チニ放免シナケレバナラヌコトニナル、ソレヲ今日ノ如ク行政官ノ手心ニ一任シテ置イテハ危險デアル、是マデモ行政訴訟ノ途ハ與ヘテアリマスガ、併シ誰カ行政訴訟ヲ起シタ者ガアリマスガ、患者ガ手紙ヲ出セバ沒收サレル、讀ンデ見テ狂人カ書クヤウナ手紙ハ出サセル、又一見人權問題ニ觸ルヤウナコトガアレバ沒收スルヤウニ見エマス、出ル時分ニハ三十通モ五十通モ呉レル、外カラ來ルモノハ本人ニ渡サナイ、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、此法律ニ於テ如何ニ行政官ニ救済ノ手續ノ權能ヲ與ヘテモ、此間ノ消息ヲ了解シタ上デ、相當ノ方法ヲ施サズンバ、猫ニ小判デ使フコトハ出來ナイ、又司法處分ノ方ニ付テモ缺點ガアル、ケレドモ司法處分ノ方ガ行政官ノ鑑識ニ一任スルヨリ、一步ヲ進メタモノデアルト云フ先刻ノ御說ニハ賛成スルノデアリマス、此點ニ付テハ公平嚴格ナル行政官ト司法官トカ云フ者ハ、直接患者ナラ患者ノ要求ニ基イテ審查スルコト云フコトニシナケレバ、如何ニ行政官ノ救済ヲ司法處分ノ途ヲ明ケテモ仕方ガナイ、此點ハ當局ニ於テモ御了解ナシテ居ルト思フ、屢々新聞ニモ出テ居リマス、斯ウ云フ患者ガ斯ウ云フ目ニ遭ッタト云フコトガ書イテアリマス、既ニ數年前ニモ牛込ノ方ニアツタコトヲ、萬朝報ガ數日ニ亙ッテ書イテ居リマシタ、當ニ斯様ナ不服ハ絶エナイ、此點ニ付テ救済方法ヲ施サナケレバ、病院ニ入レタラ全ク行政官ノ認定ニ依テ無期ノ裁判ヲ受ケタト同様デアリマス、而シテ其費用ハドンノ患者ノ財產又ハ其親戚カラ取ッテ、貧乏人ハ投リ出ス、ソレハ何處ノ病院ニサウ云フ事ガアルト云フノデアリマセヌガ、其點ニ付テノ方法ハドウデアリマス

○齊藤紀一君 横山君ニ申述ベタイ……

○横山勝太郎君 齊藤君ノ名譽ニ付テ申上ゲタノデアリマセヌ、齊藤君ノ事ヲ彼此申上ゲルノデアリマセヌ、此席ニ御出デアリマスカラ、或ハ私ノ申ス事ノ餘沫ガ及ビヤニ誤解ニナレハ困リマスカラ、決シテサウ云フ意味デナイコトヲ申上ゲテ置キマス

○政府委員(杉山四五郎君) 御答致シマスガ、要スルニ

唯今ノ御質問ノ大體ハ、御意見ト拜承スベキ範圍ガ多カ
タヤウニ思フ、詰リ先刻來段々清水君ナリ丸山君ナリノ御
質疑ニ答ヘマシタ通り、現行精神病者監護法ト云フモノガ
アリマス、精神病者ヲ監置セントスル時分ニハ、地方行政
廳、警視總監、府縣知事ノ許可ヲ受ケシメルコトニシテアル
今度此法案ヲ制定スル場合モ府縣ノ精神病院ニ入レル時
ハ、一ニ地方長官ノ認定ニ任シテアル、元々地方長官モ私
同様素人デアリマスカラ、ソレヲ玄人デアル所ノ殊ニ此精神
病ノ學理ニ通ジテ居ル醫者ガ、二人以上兎ニ角診テ、確ニ
サウダト云フコトヲ認定ノ下ニシヤウト云フノデ、司法官ノ
處分ニスルト云フコトハ是ハ寧ロ御意見デハアルマイカト思
フ、ト云フハ現在斯ウ云フ例ガアルト仰セノコトハ、サウ云
フ例ガアルハ甚ダ遺憾デアリマスモ横山君モ御認メノ通
リ、精神病ノ學理ニ通ジテ居ル專門家ガ實ハ拂底デアリマ
ス、先刻豐島法務局長カラ縷々申上ゲテ置キマシタガ、徳
島ニ或ル犯罪事件ガアタ、如何ニ賢明ナル司法官ト雖モ、
此人カ精神病デ有ルカ無イカハ分ラヌ、其原因ハ何デアル
カト云フト、元々技術ニ屬シマスカラ、其見ル所ノ人ガ行政
官ト司法官トカデハ、實際ノ事ハ分ラヌ、分ラヌ故ニ專門
ノ技術者ニ委セヨリ外仕方ガナイト云フコトニナリマス、司
法官ニ委セルト云フコトハ、外國デハ此通りノ主義ヲ採テ
居ル國モアリマス、併シ佛蘭西ヤ普魯西ノ如キハ行政官ニ
委セテ居ル、現行精神病者監護法ニハ、行政長官ニ一任シ
テアリマスカラ、此法案モ矢張行政長官ニ委セヤウト云フダ
ケノ考デアリマス、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○清水市太郎君 一寸今ノ事デアリマスガ、意見ノ相違
ト認メマスケレドモ、中ニ是ハ行政官ニヤラセテ置クノト、司
法官ニヤラセテ置クノトノ間ニハ、餘程精神病者ノ爲メニ
重大ナ關係ガアルト思ヒマス、唯今政府委員ハ司法官ニ委
セタ所ガ、精神病者デアアルカドウカヲ決スルニハ、結局名醫
ノ手デ判斷スル外ナイト云フノデアリマスガ、私共ノ考デハ、
裁判所ニ於テコソ辯護士ガアデ本人ノ爲メニ辯解スルコ
トモ出來、司法官ガ之ヲ判斷スル、又名醫ノ診察ガアデ司
法官ガ其言フコトヲ聴ク、然ルニ行政官ニ任セタ場合ニハ、
知ラヌ病狀ヲ審查シテ、ソレニ從フダケニシマフ、一人
ガ精神病者デアルト見デモ、又精神病者デ無イカモ知ラヌ
ト云フヤウナコトデ、本人ノ爲メニ辯解スル者ガ無イ、唯、行
政官ヤ醫者ガ言フカラ直チニ採用シテシマフト云フノト、檢
事ガ言デ出テ裁判所ガ鑑定サレテ見テ審理シ、辯護士
ガ意見ヲ述ベテ判決ヲ下スノトハ趣ガ違フ、醫者ガ鑑定ヲ
シ辯護士ガ意見ヲ述ベ、裁判官ガ判斷シテ、控訴上告ガ出
來ルノトハ、其間ニ違ヒガアルト思フ、頗ル其例ハ多イノデア
ル、相續爭ヒ御家騷動トカ色ニナ場合ニ、狂人デナイモノヲ狂

人ニシテシマタ例ガアル、サウ云フコトデ此文明ノ帝國ニ取
テ餘程重大ナル事デアリマス、歐米ノ例ヲ政府委員ハ仰セ
ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、若シ出來得ベクンバ司法官
ノ制度ヲ採用シテ居ル國ノ法制ト、司法官ノ鑑定ニ委シテ
居ラヌ法制トヲ參考ニ頂戴スルコトハ出來マセヌカ
○委員長(醫學博士金杉英五郎君) 清水君、御話中デ
スガ先刻御質問ニナッタ事柄ト同ジデスナ、サウスルト御意
見ノヤウニ考ヘマス、横山君ヲ御答メニナッタ以上ハ、御控
ヘニナッテ後ト逐條審議ノトキニ願ヒマス
○清水市太郎君 參考書ヲ請求スルノデアリマス
○委員長(醫學博士金杉英五郎君) 參考書請求ノコト
ハ申シマセウ
○齋藤紀一君 横山君ノ質問ニ對シテ政府委員ノ御答
ガアリマシタガ、私モ參考トシテ一二申上ゲタイ、横山君ハ
行政官ト司法官トデハ大ナル差ガアルト云フ御説、政府委
員ハ假令行政官ニシテモ、司法官ニシテモ專門家ニ非ザレ
バ之ヲ決メル事ハ出來ヌカラ同ジヤウデアルト言フ、吾ニガ
今日マデ實驗スル所ニ依ルト、行政官デモ司法官デモ同ジ
デアル、何故ナラバ今日ハ警視廳デモ立派ナ專門醫ヲ置イ
テ、ソレガ月ニ二回三回ト檢診サレテ居ル、司法官ニ命ジテ
モ司法官ガ精神病カドウカヲ判斷スルコトハ頗ル困難デア
ル、所謂專門家ヲ僱聘シテ之ヲ監督セシムルコトニシタラ、
何等ハ差ガ無イト思ヒマス、參考トシテ申上ゲテ置キマ
ス、ソレカラ一寸質問シタイノハ、先刻カラ國立精神病院ト
云フコトガ出テ居リマスガ、是ハ政府案トシテ法律案ヲ提
出サレテアリマスガ、マダ別ニ豫算ハ無イヤウデアリマス、ソ
レハ如何デスカ、御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(杉山四五郎君) 是ハ如何ニモ御尤デアリマ
ス、豫算ヲ要求シテ居ナイガ、ソレハドウカト云フ御質問ハ當
然出ベキ問題ト思ヒ居リマス、是ハ感化院法制定ノト
キニ、地方感化院、國立感化院ト云フコトヲ書イタノト同ジ
形式デ現レテ居リマス、詰マリ國家ガ財政ノ許ス範圍ニ於
テ、必ズ國立精神病院ヲ造ルノデアルト云フ、國家ノ精神ノ
在ル所ヲ此精神病院法ニ書キマシタノデアリマス
○齋藤紀一君 第三條ニ「國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ
第一條ノ規定ニ依リ設置スル精神病院ノ經費ニ對シ六分
ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス」斯ウ云フ事ガアリマス、先程
政府委員ノ説明ニ依ルト、確カ精神病院設備費トシテ御
述ベニナッタヤウデゴザイマスガ、是ハ精神病院維持費ニ充
テ爾積リデアリマセウカ、唯一 回設備費トシテ是ダケ補助
スルノデアリマス
○政府委員(杉山四五郎君) 是ハ勅令ニ委任ノ形式ヲ
採テ居リマスガ、其勅令ハ大體斯ウ云フ風ニシタイト思ッテ

居リマス、精神病院創設費擴張費及ビ之ニ伴フ初度調辨
費ハ二分ノ一マア大體斯ウ云フ風ナ考デアリマス
○齋藤紀一君 サウスルト維持費ニ關係アリマセヌカ
○政府委員(杉山四五郎君) 經常費ハ六分ノ一トスル
積リデアリマス
○齋藤紀一君 二分ノ一ハ設備費デスカ
○政府委員(杉山四五郎君) 二分ノ一ハ創設費、即チ
建築費デス
○山根正次君 私ハ大變見易イ事ト思ヒマスガ、精神病
專門トセル醫師ハ今日日本中ニ幾人程居ラレデアリマセウ
カ、患者ハ三百人ニ一人トスレバ、十二万人モアル事デア
リマスガ、專門トシテ之ヲ扱バレル確カナル御醫者ハ何人居
ラレマセウカ、一寸之ヲ問ウテ置キマス
○政府委員(杉山四五郎君) 山根君ノ御尋ニ御答シマ
スガ、專門ノ方ハ三百人足ラズデアリマス
○伊東重君 三百人ト云フノハドウ云フ所ヲ標準トシテ
居ルノデアリマス
○政府委員(杉山四五郎君) 伊東君ノ御尋ニ御答シマ
スガ、三百名近クト申シマシタノハ、精神病學ヲ專攻シテ居
ル所ノ者デアリマス、併シ其外ニ各私立精神病院ノ方ニ一
名以上、精神病學ヲ研究シテ從事シテ居ル所ノ醫者ガアル
ノデアリマス
○伊東重君 此法案ヲ一讀スルト、府縣ニ精神病院ヲ設
置サセルノガ原則デ、公私立ノ精神病院ヲ代用スルコトハ、
萬已ムヲ得ザル場合ヲ規定シテアルト考ヘマスガ、之ヲ今府
縣ニ新タニ設置サセルト、地方ハ皆傳染病ノ費用ノ爲メニ
追ハレテ居ル、地方ノ經濟トシテハ重大ナ事ト考ヘマス、政
府デハドウ云フ程度ノ精神病院ノ御見込デアルカ、ソレヲ
承テ置キタイ、例ヘバ病舎、經費、或ハ職員等ニ於テ最低
ノ程度ハドレダケニスル御考デアルカ、ソレヲ承テ置キタイ
○政府委員(杉山四五郎君) 伊東君ノ御質問ニ御答シ
マスガ、道府縣立精神病院ノ政府ノ現在考ヘテ居リマス大
體ノ計畫デアリマスガ、先ヅ甲乙丙ノ三ツニ分ケタイト思ッ
テ居リマス、甲ハ二百五十人以上ヲ收容スルモノ、之ニ屬
スルモノガ四府縣アリマス、ソレカラ乙ハ百五十人以上ヲ收
容スルモノ、之ニ屬スルモノガ十二縣 丙ハ百五十人未滿
ヲ收容スルモノ、之ニ屬スル所ノ地方ガ三十一縣、收容人
ハ甲ニ屬スルモノガ合計千七百七十名、敷地一人當リ三十
坪ト致シマシテ、其坪數ガ三万五千五百坪、土地ノ買收費ガ
一坪當リ七圓トシテ、其金額二十四万五千七百圓建坪
一人當リ五坪トシテ、五千八百五十坪、建築費一坪當リ
木造ニシテ百二十圓、其金額七十七万二千圓、設備費一人
當リ百圓トシテ、此金額十一万七千圓、合計甲ニ屬スル

費用が百〇六万四千七百圓、ソレカラ乙が收容人員二千四百四十名、敷地六万四千二百坪、土地買收費四十四万九千四百圓、建坪一万七千坪、建築費百二十八万四千圓、設備費二十一万四千圓、合計百九十四万七千四百圓、ソレカラ丙ニ屬スルノ收容人員二千九百八十六人、敷地八万九千五百八十圓、買收費六十二万七千六百圓、建坪一万四千九百三十坪、建築費百七十九万六千六百圓、設備費二十九万八千六百圓、其合計二百七十一万七千二百六十圓、此甲乙丙ニ屬スル各地方ノ總工費が、先程申シマシタ五百七十二万九千三百六十圓、而シテ其中ノ半分ヲ國が補助スル、大體右様ノ計畫ヲ持テ居リマス

○伊東重君 今ノ説明ノ如ク、其費用ハ隨分地方經濟ニ取ッテハ多大ナル負擔ヲシナケレバナラス、斯ウ政府ノ補助アルニシテモ——且又縣下ノ精神病患者ヲ殘ラズ強制シテ收容スルノト違フ、唯、二條ニ規定シテアル者ヲ強制シテ入院セシムルトスルト、其數甚ダ多クナイト思フ、サウスルト毎年ノ經費收支ニ於テ益々負擔が多クナルト云フコトニナシテ、地方經濟ノ最モ苦シム所ト考ヘマス、若シ地方ニシテ縣立病院ニ此處養竝ニ監督ヲ托スルヤウニ、地方長官が願出ル場合ハ、政府ハ之ヲ許シマスカ否ヤヲ伺フテ置キタイ

○政府委員(杉山四郎君) 先程伊東君ノ御説ノ中ニ、此法案ノ第八條ニ代用ノ事ガアルガ、是ハ止ミ難キ例外ノ事デアラウト信ズルガドウカト云フ御質問ガアリマシタガ、此點ヲ御返事漏シマシタカラ、此方カラ先ニ補ッテ置キマス、是ハ全ク伊東君ノ御説ノ通り、道府縣立精神病院ヲ造ラセルト云フノ趣旨デアリマシテ、此方ハ詰マリニツ若クハ三ツ位宛年々指定シテ行キマシテ、十五箇年ヲ以テ完成スルト云フ計畫ヲ持ッテ居リマス、而シテ經費ノ地方費負擔ノ問題ニ御言及ニナリマシタガ、是モ如何ニモ御尤ニ存ジマス、段々地方費ノ膨脹シテ來ル際デアリマスガ故ニ、此點ニ於テハ衛生當局ハ最モ考慮ヲ加ヘタノデアリマス、尙ホ地方經費ノ監督ノ地位ニ在ル所ノ當局モ、能ク相談ヲ致シマシテ、概要此爲メニドノ位ノ負擔ガ、例ヘバ戸數割ニハドウ云フヤウニ來ルカ、若クハ附加税ニスルナラバドウ云フヤウニ行クカト云フコトモ、攻究シテ見マシタガ、一面地方税制限緩和ニ關スル法律案モ出テ居ルヤウナ次第デ、大體十五箇年ヲ以テ之ヲ完成スルト云フ位ノ事デアレバ——一齊ニ各地ニ之ヲヤルトナルト、國ノ費用モ大デアリ、地方ノ負擔ニ付テモ大ニ考ヘナケレバナリマセヌ故ニ、大體十五箇年トシテアルノデアリマス、其中第一條第一項ノ但書ニ但シ必要ト認ムルトキハ二以上ノ道府縣ヲ指定シ共同設置ヲ命ズルコトヲ妨ゲストアリマス、經費ノ關係ヲ鑒穿シテ、或ル特定ノ

場合ニ於テハ組合ス方が宜イ、サウシナケレバ經費上地方ノ負擔ニ堪ヘナイト云フヤウナコトモ斟酌致シマシテ、ソレヲ慮リマシタ爲メニ、但書ヲ附加ヘタノデアリマス、大體内務省ト致シマシテハ、地方ノ負擔ノ上ニ於テ、左マデ負擔ヲ非常ニ重カラシムルト云フコトハナシニ行キ得ルト云フ所信ヲ持ッテ居リマス

○齋藤紀一君 緊急動議ガアリマス、本案ハ重大問題デアリマスカラ、本日ハ數時間吾々ガ盛ニ攻究致シマシタガ、次回ニ司法當局ノ出席ヲ求メルコトニシテ、本日ハ散會致シタイト思ヒマス、諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(醫學博士金杉英五郎君) サウスルト此次ニ司法當局ニ來テ貫ヒマシテ、尙ホ緩クリヤルコトニシテ、今日ハ是デ散會致シマス

午後五時二十一分散會

大正八年三月十一日印刷

大正八年三月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局